

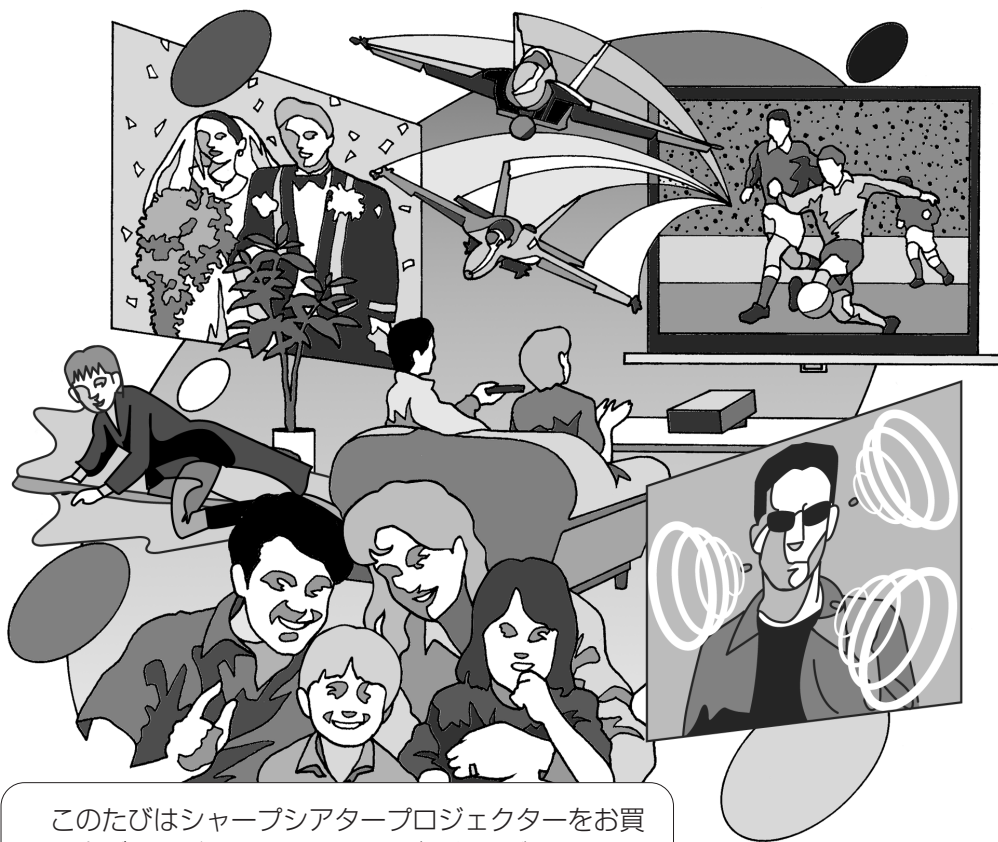
SHARP®

シアタープロジェクター

形名 エックス ブイ ゼット

XV-Z200

取扱説明書

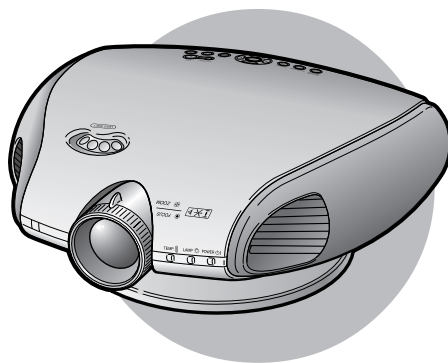


このたびはシャープシアタープロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……3ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保管してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。



はじめに

設置と接続のしかた

基本操作

調整・設定をする

付録

はじめに

ページ

もくじ	2
安全に正しくお使いいただくために	3
使用上のご注意	7
設置するときは次の点にご注意ください	7
プロジェクターを海外でご使用になるときは	8
ランプ交換に関しての注意	8
ランプ交換ユニットに関しての注意	8
簡単に試してみる	9
各部のなまえ	10
本体(前面、上面)	10
本体(側面、後面)	10
本体(後面)	11
リモコン(前面)	12
リモコン(上側)	12
リモコンの使いかた	13
リモコンの使用範囲	13
乾電池の入れかた	13
付属品を確認する	14

設置と接続のしかた

接続のしかた	16
接続する前に	16
電源コードの接続	16
ビデオ機器を接続する	17
S映像出力端子付きビデオ機器と接続する (INPUT3)	17
S映像出力端子のないビデオ機器と接続する (INPUT4)	18
DVDプレーヤーなどを接続する	19
コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器を 市販のコンポーネントケーブルを使って接続する (INPUT1)	19
コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器を 別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルと DVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを 使って接続する(INPUT2)	20
RGB出力端子付きビデオ機器を別売のDVI/ 15ピンミニD-sub変換アダプターと市販の RGBケーブルを使って接続する (INPUT2)	21
DVI出力端子付きビデオ機器を別売の DVIデジタルケーブルを使って接続する (DIGITAL INPUT)	22
コンピュータを接続する	23
コンピュータを別売のDVI/15ピンミニD-sub変換 アダプターと市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを 使って接続する(INPUT2)	23
デジタルRGB出力端子付きコンピュータと 接続する(DIGITAL INPUT)	24
プロジェクターをコンピュータで制御する	25
コンピュータをRS-232Cケーブルを使って接続する	25
設置のしかた	26
回転スタンドの使いかた	26
回転スタンドを取り外す	26
回転スタンドを取り付ける	27
レンズを調整する	27
投映画面位置を上下に移動する	27
画面サイズと投映距離	28
スクリーンを設置する	29
スクリーンを設置する(天吊り)	29
反転映像を投映するとき	30

基本操作

ページ

投映のしかた	32
電源を入れる	32
電源を切る(待機状態にする)ときは	34
画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)	35
キーストーン補正を使って投映する場合の設置方法	36
投映中の画像を静止画にする	37
入力信号の種類によって、画面サイズを切り換える	37

調整・設定をする

メニュー操作のしかた	40
メニューの基本操作(調整)	40
メニューの基本操作(設定)	42
メニュー表示内容一覧	44
映像を調整する	46
見やすい映像に調整する	46
色温度を設定する	47
ガンマ補正を設定する	48
ホワイトエンハンスを設定する	48
画面調整の内容を登録する	49
コンピュータの映像を調整する	50
自動同期調整がOFFのとき	50
特殊モード調整	51
自動同期調整	52
入力信号情報を表示する	52
オプションメニューで本機を楽しむための設定をする	53
ランプ使用時間を確認する	53
画面に表示されている情報を消す	53
入力信号を設定する	54
映像信号方式を設定する(INPUT3/INPUT4のみ)	54
無信号時画面を設定する	55
エコモードを設定する	55
無信号時に電源を待機状態にする	56
メニューの位置を設定する	56
メニューの色を設定する	57
映像を左右反転/上下反転する	58
投映方式の設定	58

付録

お知らせ表示について	60
ランプを交換する	61
ランプについて	61
ランプ使用上のご注意	61
ランプ交換時のご注意	61
ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け	62
ランプ使用時間(タイマー)をリセットする	63
吸気孔のお手入れのしかた	64
吸気孔のお手入れのしかた	64
盗難防止用コネクターを使用する	65
故障かな?と思ったら	65
本体のコネクタのピン配置	66
(RS-232C)仕様とコマンドの設定	67
RGB入力信号(推奨信号)について	68
アフターサービスについて	69
お客様ご相談窓口のご案内	70
仕様	71
寸法図	72
用語集	74
索引	75

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど
異常状態のときは電源プラグを抜く



● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

表示された電源電圧で使用する



- 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

レンズをのぞかない



- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

内部にも物や水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、ランプ交換ユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない



- この機器の上に重いものを置かないでください。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 注意

移動させるときは必ず接続線をはずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでゆきがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する



- 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ほこり、湿気の少ないところへ

- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5℃～35℃
- 保存温度範囲 -20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、保護機構が動き自動的にランプの電源が切れます。これは故障ではありません。電源プラグをコンセントから抜き、少なくとも10分間はそのままだしててください。その後もう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。



温度

温度モニター機能

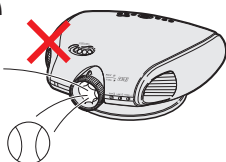
- 設置状況や吸気孔の目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高くなると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニター表示(ランプ)が点滅し、90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については60ページの「お知らせ表示について」をご参照ください。

お知らせ

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

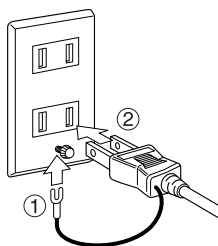
衝撃を与えないでください

- 本機のレンズには特にご注意ください、表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



電源コードの接続について

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。



- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。



接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用上のご注意(つづき)

プロジェクターを海外でご使用になるときは

- お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国にあった電源コード(別売品)をご使用ください。

ランプ交換に関しての注意

- 「ランプについて」(61 ページ)もご覧ください。

■破棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HID)ランプは、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関しての注意

- ランプが破裂するとガラス破片で怪我をするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店ご連絡ください。

- この製品は、クラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。
その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

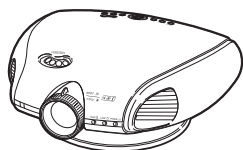
- DLP™ (Digital Light Processing)、DMD™ (Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PS/2、PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- Macintosh はアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
その他製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の IC チップの中には、米国テキサスインスツルメンツ社の営業秘密が含まれている IC チップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアセンブリングもしくはディスアセンブリングをすることは禁じられております。

簡単に試してみる

接続から投映するまでの流れを、お手持ちのビデオ機器との接続を例に簡単に説明します。
くわしくは()内の各ページをご覧ください。

用意するもの

プロジェクター

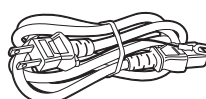


リモコン

- 電池を入れてお使いください。
(13 ページ)



電源コード

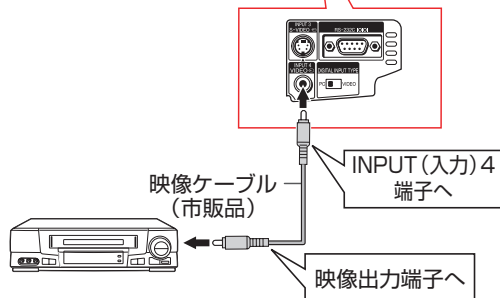
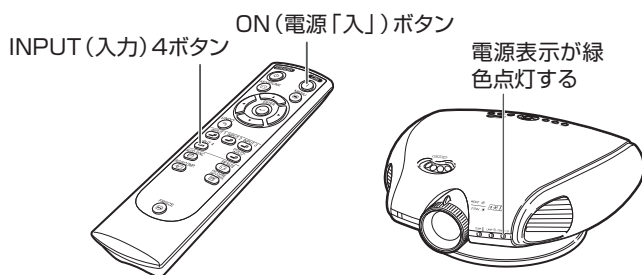
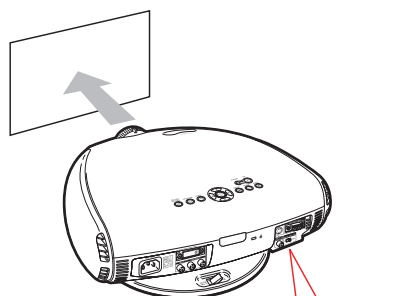


ビデオ機器



映像ケーブル (市販品)

- 1 投映したいスクリーンにレンズを向けてプロジェクターを置く
- 2 ビデオ機器を接続する (18ページ)
- 3 ビデオ機器の音声出力端子をオーディオ機器と接続する
- 4 プロジェクターに電源コードを接続し、コンセントに差し込む (16ページ)
- 5 レンズキャップを外す
- 6 リモコンの を押し電源を入れる (32ページ)
- 7 リモコンの を押し「入力4」にする (33ページ)
- 8 ビデオ機器の電源を入れる
- 9 ビデオを再生する
- 10 画面サイズやピント、画面位置を調整する (27ページ)

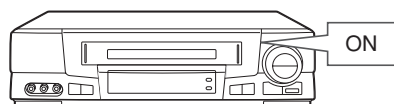


- 7 リモコンの を押し「入力4」にする (33ページ)

▼画面表示

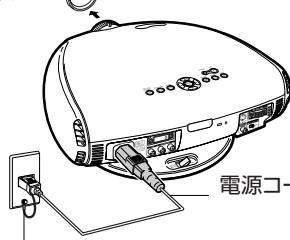


- 8 ビデオ機器の電源を入れる



- 3 ビデオ機器の音声出力端子をオーディオ機器と接続する
- 4 プロジェクターに電源コードを接続し、コンセントに差し込む (16ページ)
- 5 レンズキャップを外す

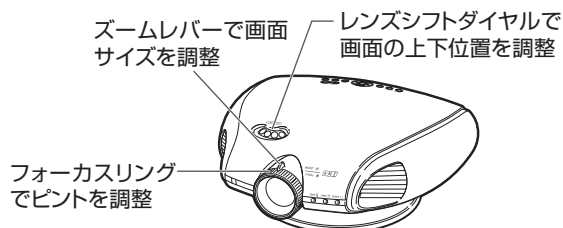
レンズキャップ



電源コード

アースコードは必ず取り付ける

- 9 ビデオを再生する
- 10 画面サイズやピント、画面位置を調整する (27ページ)



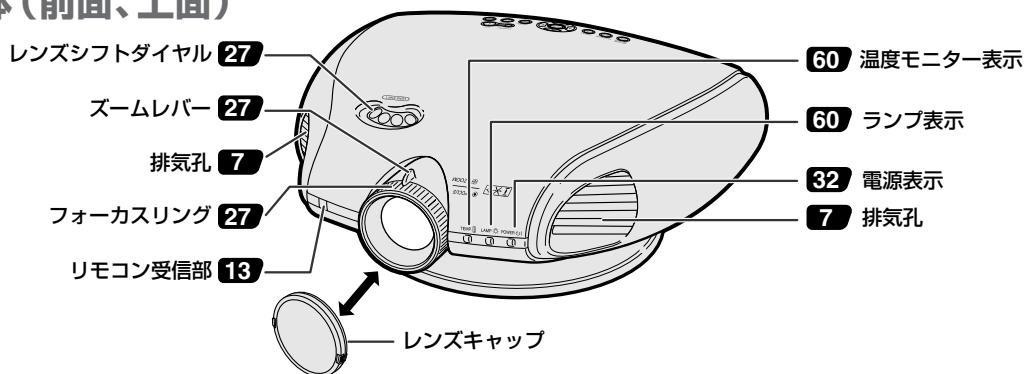
- ビデオ機器以外に、コンピュータと接続することもできます。(23 ページ)

各部のなまえ

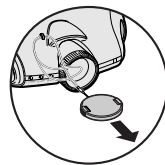
■ は参照ページを示しています。

製品改良のため、外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

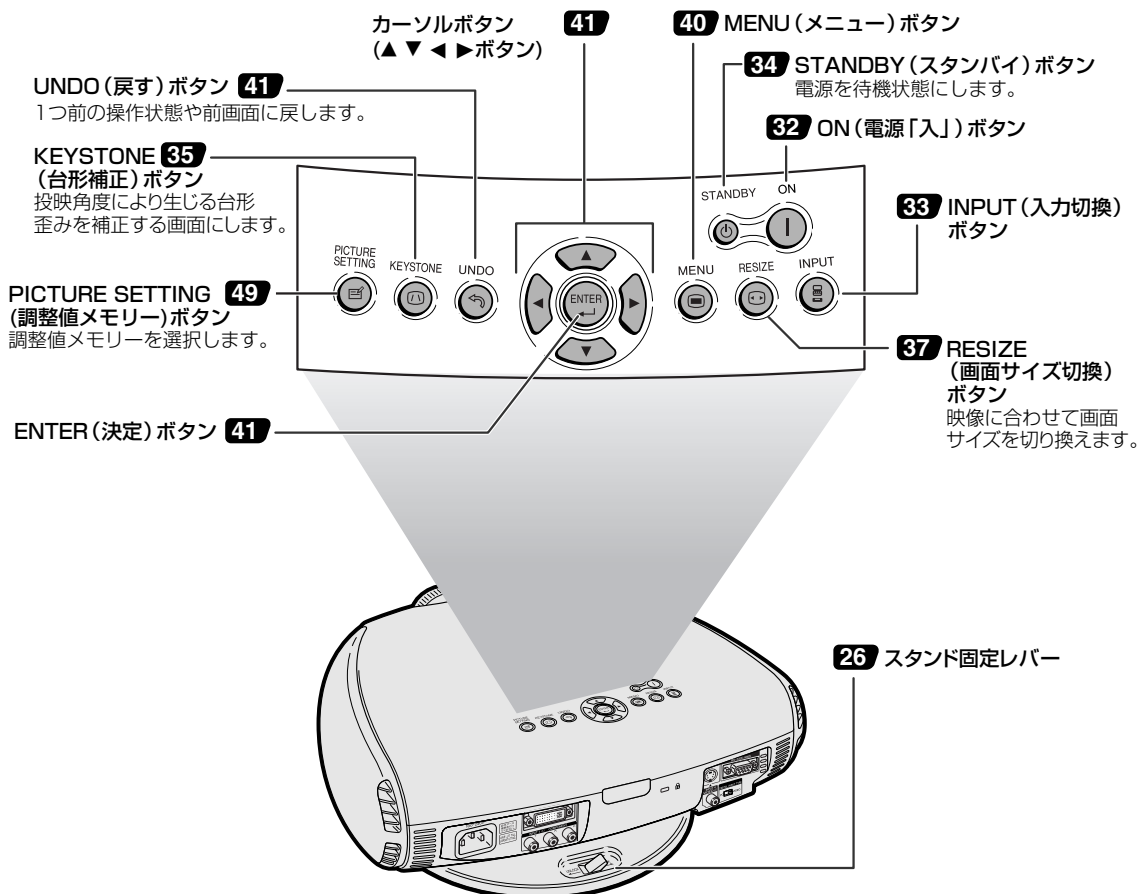
本体（前面、上面）



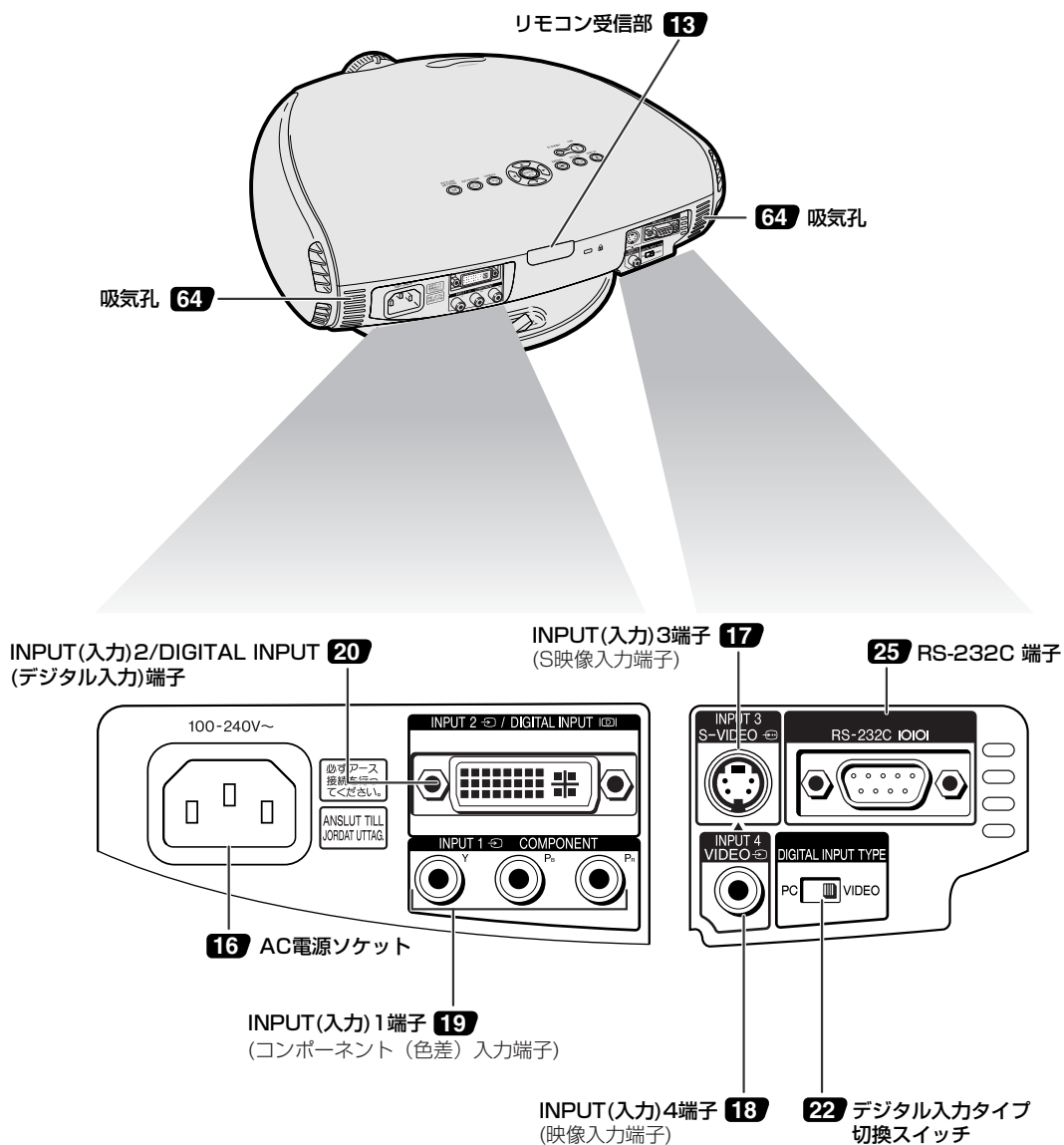
レンズキャップに市販のストラップ（携帯電話用など）を取り付け本体と結んでおくことができます。レンズキャップに市販のストラップを通し、図のように本体裏側にストラップを通し結びます。



本体（側面、後面）

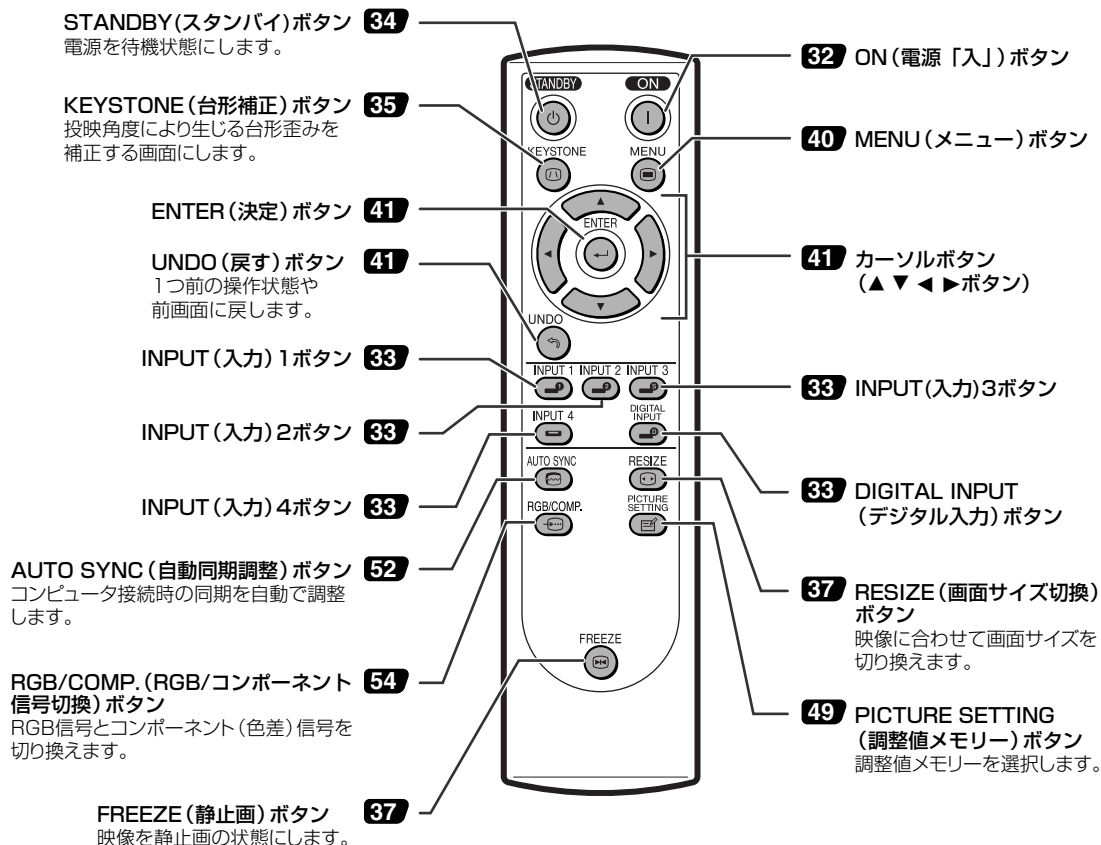


本体（後面）



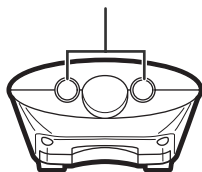
各部のなまえ (つづき)

リモコン (前面)



リモコン (上側)

リモコン信号発信部



リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

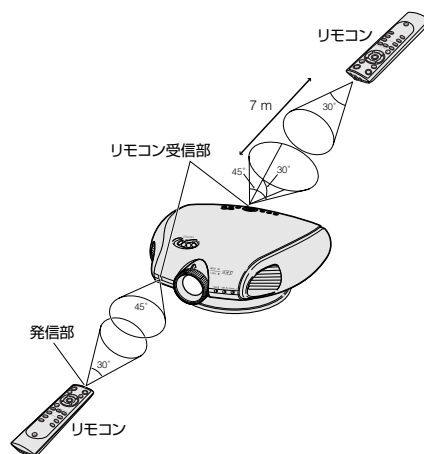
■リモコンの使用範囲は図のとおりです。



- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの動きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。



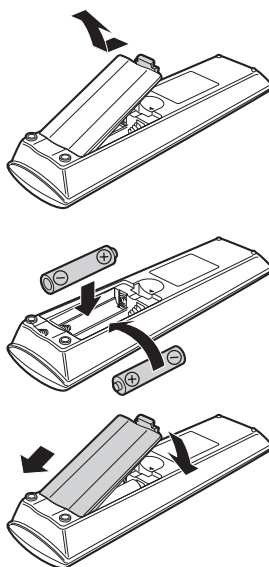
乾電池の入れかた

1 カバーのつまみを押して、矢印の方向に開ける

2 付属の乾電池を入れる

- プラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ を、表示のとおり正しく入れてください。

3 カバー下側の出っ張りをはめ込み、パチンとはまるまで下げる



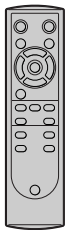
乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

- 乾電池のプラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

付属品を確認する

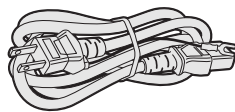
付属品



リモコン



単3形乾電池（2本）



電源コード（1.8m）



レンズキャップ

保証書

取扱説明書（本書）

別売品のご案内

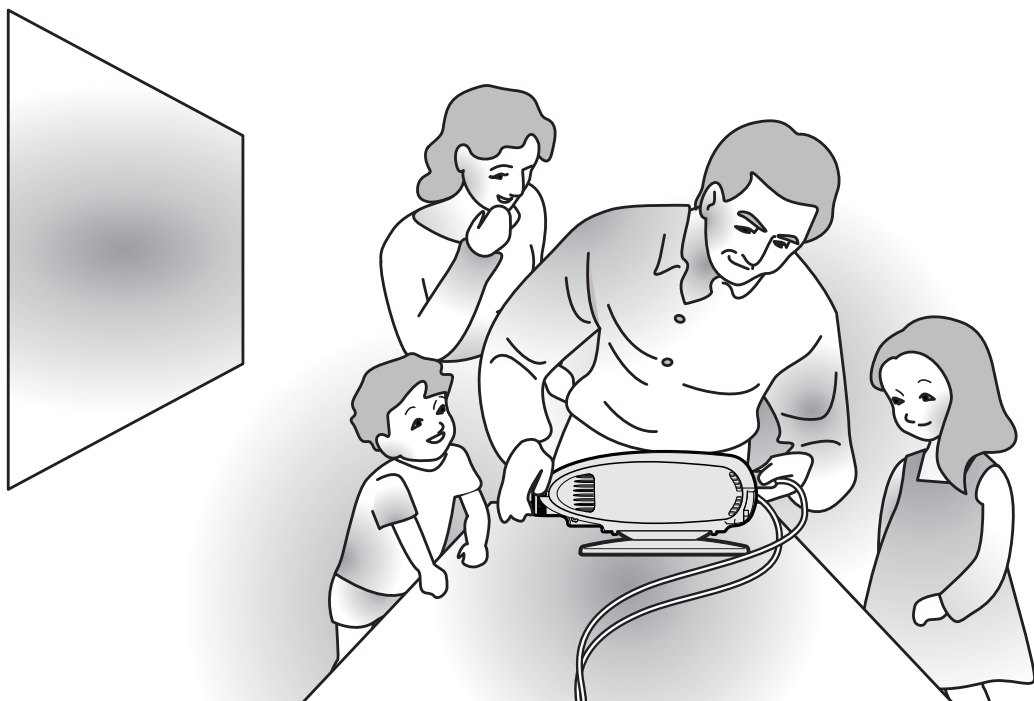
3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル（3m） AN-C3CP

DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター（20cm） AN-A1DV

DVIデジタルケーブル（3m）

AN-C3DV

設置と接続のしかた



接続のしかた

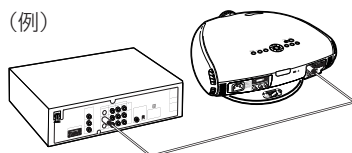
接続する前に



- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。
コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

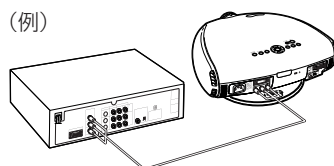
ビデオ機器との接続

- ビデオなどと接続します。
くわしくは17～18ページをご覧ください。



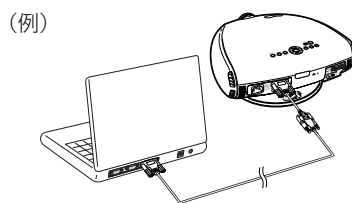
DVD プレーヤーや BS デジタルチューナーなどとの接続

- コンポーネント(色差)出力端子付機器と接続します。
詳しくは19～20ページをご覧ください。
- RGB 出力端子付機器と接続します。
詳しくは21ページをご覧ください。
- DVI 出力端子付機器と接続します。
詳しくは22ページをご覧ください。



コンピュータとの接続

- DVI/15ピンミニ D-sub 変換アダプターを使って接続します。
くわしくは 23 ページをご覧ください。
- DVI デジタルケーブルを使って接続します。
くわしくは 24 ページをご覧ください。
- RS-232C ケーブルクロス・メス・メスタイプ(市販品)を使って接続します。
くわしくは25ページをご覧ください。

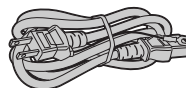


電源コードの接続

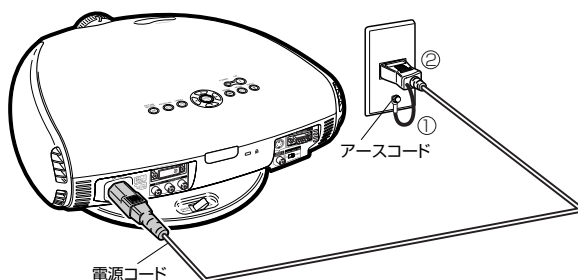
プロジェクターの後面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品



電源コード
(1.8m)



ビデオ機器を接続する

S映像出力端子付きビデオ機器と接続する (INPUT3)

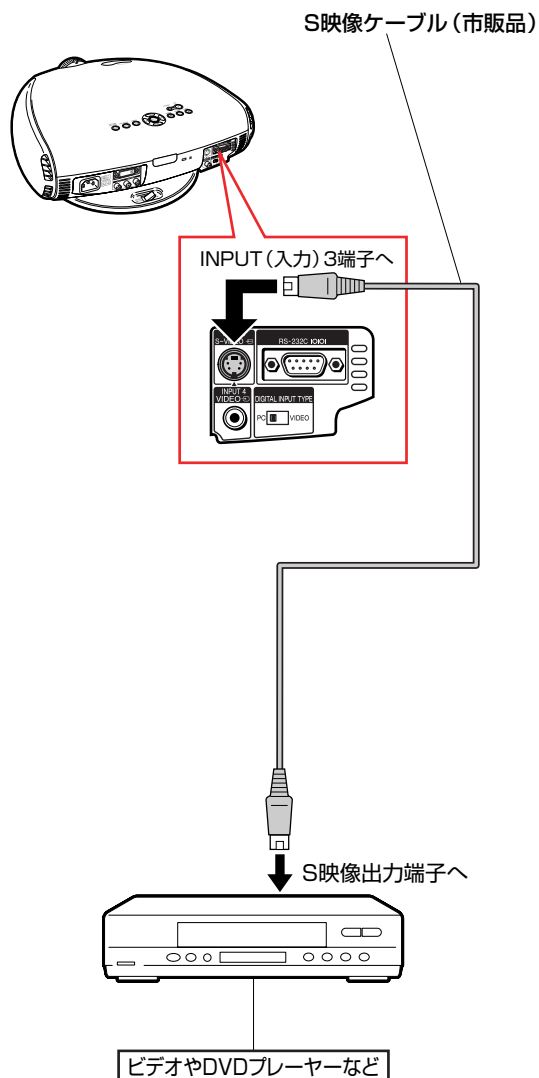
ビデオやDVDプレーヤーなどを、市販のS映像ケーブルを使ってINPUT (入力) 3端子に接続します。

1 市販のS映像ケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したS映像ケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

- INPUT (入力) 3のS映像入力端子に採用されているビデオ信号は、色信号と輝度信号に分かれています。S映像出力端子付ビデオ機器を接続するときは、より高品位な画像再生のため、プロジェクターのS映像入力端子とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS映像ケーブルで接続してお使いください。



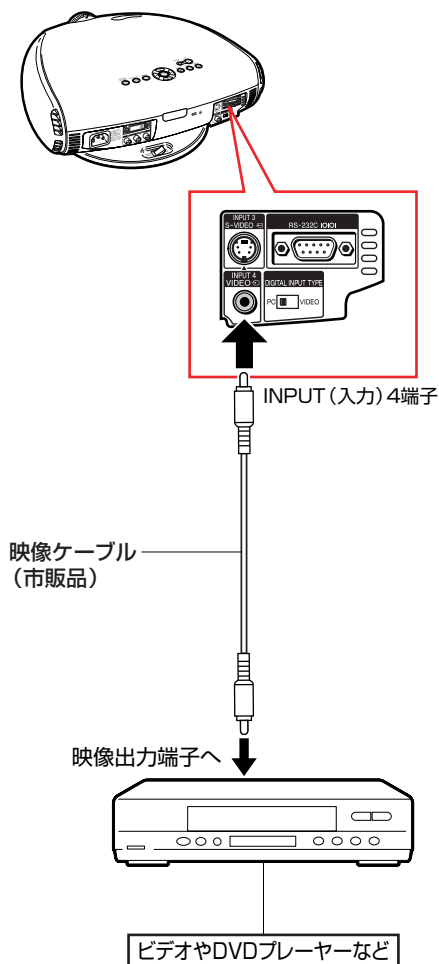
接続のしかた(つづき)

S映像出力端子のないビデオ機器と接続する (INPUT4)

ビデオやDVDプレーヤーなどを、市販の映像ケーブルを使ってINPUT (入力) 4端子に接続します。

1 市販の映像ケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続した映像ケーブルをビデオ機器に接続する



DVDプレーヤーなどを接続する

コンポーネント（色差）出力端子付きビデオ機器を市販のコンポーネントケーブルを使って接続する（INPUT 1）

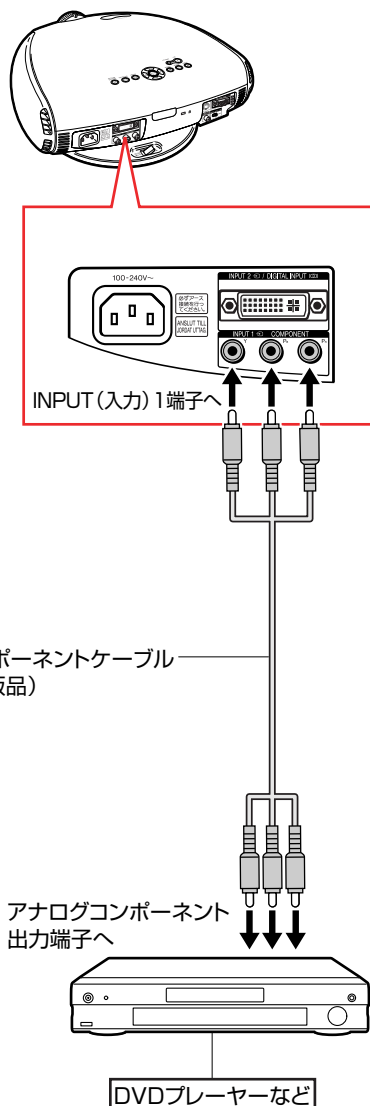
DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなど、コンポーネント（色差）出力端子のある機器を市販のコンポーネントケーブルを使ってINPUT（入力）1端子に接続します。

1 市販のコンポーネントケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。



接続のしかた(つづき)

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器を別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルとDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使って接続する(INPUT2)

DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポーネント(色差)出力端子のある機器を、別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルとDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使ってINPUT(入力)2端子に接続します。

1 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターをプロジェクターに接続する

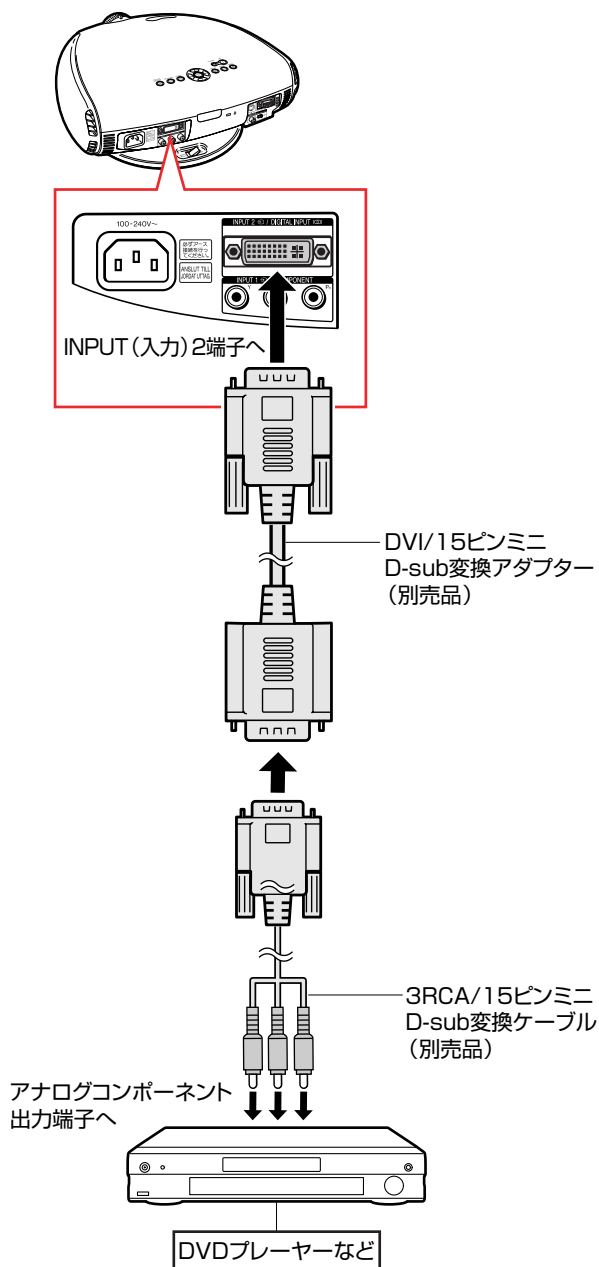
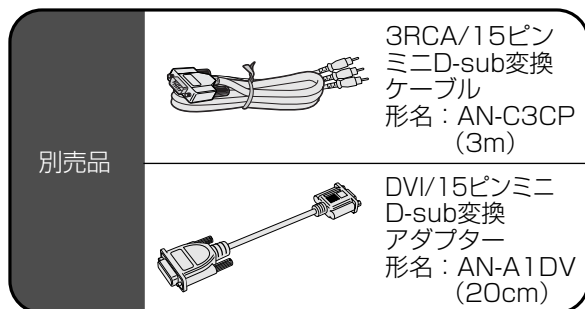
2 その変換アダプターに別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを接続する

• ネジをしめて確実に接続してください。

3 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定するか、リモコンの  を押して「色差入力」を選択してください。(54ページ)
- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。



RGB出力端子付きビデオ機器を別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターと市販のRGBケーブルを使って接続する (INPUT2)

DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどRGB出力端子のある機器を、DVI/15ピンミニD-sub変換アダプターとRGBケーブル(市販品)を使ってINPUT(入力)2端子に接続します。

1 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続した変換アダプターに市販のRGBケーブルを接続する

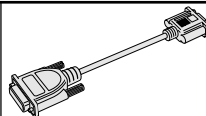
3 RGBケーブルをビデオ機器に接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

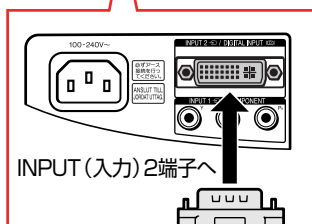
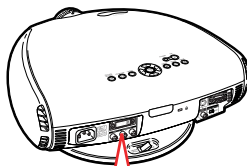
メモ

- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「RGB」に設定するか、リモコンの  を押して「RGB」を選択してください。(54ページ)

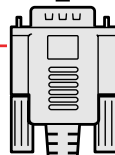
別売品



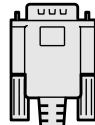
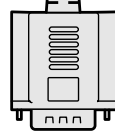
DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター
形名：AN-A1DV
(20cm)



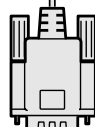
INPUT (入力) 2端子へ



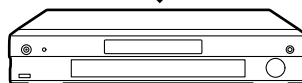
DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター
(別売品)



RGBケーブル
(市販品)



RGB出力端子へ



DVDプレーヤーなど

接続のしかた(つづき)

DVI出力端子付きビデオ機器を別売のDVIデジタルケーブルを使って接続する(DIGITAL INPUT)

DVI出力端子のあるDVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどを別売のDVIデジタルケーブルを使ってDIGITAL INPUT(デジタル入力)端子に接続します。

1 後面端子部のデジタル入力タイプ切換スイッチを「VIDEO」側にする

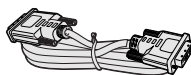
2 別売のDVIデジタルケーブルをDIGITAL INPUT(デジタル入力)端子に接続する

3 プロジェクターに接続したケーブルをDVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどに接続する

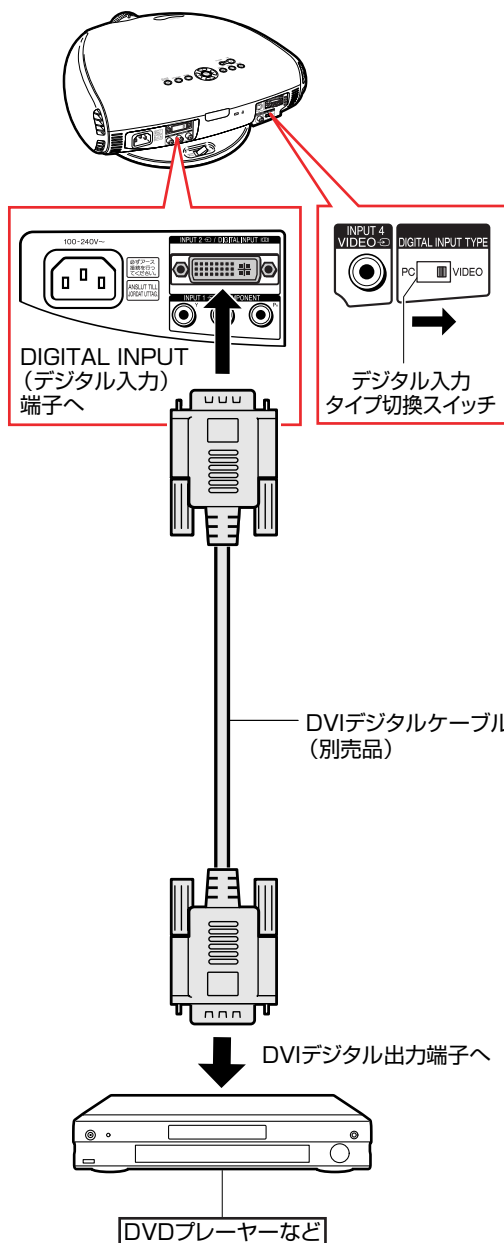
メモ

- デジタル出力端子付きのビデオ機器と接続するときは、入力モードをデジタル入力に設定してください。くわしくは**33**ページをご覧ください。
- デジタル入力タイプ切換スイッチを切り換えたり接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続とスイッチ切替が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。

別売品



DVIデジタルケーブル
形名: AN-C3DV
(3m)



コンピュータを接続する

コンピュータを別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターと市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する(INPUT2)

1 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続した変換アダプターに市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを接続する

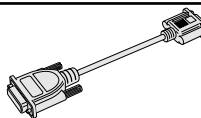
3 コンピュータ(RGB)ケーブルをコンピュータに接続する

• ネジをしめて確実に接続してください。

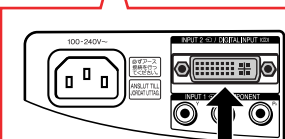
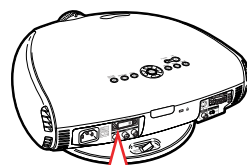
メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、68ページ「RGB入力信号(推奨信号)」についてをご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「RGB」に設定するか、リモコンの^{RGB/COMP}を押して「RGB」を選択してください。(54ページ)
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(70ページ)へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

別売品



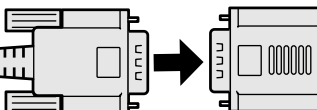
DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター
形名: AN-A1DV
(20cm)



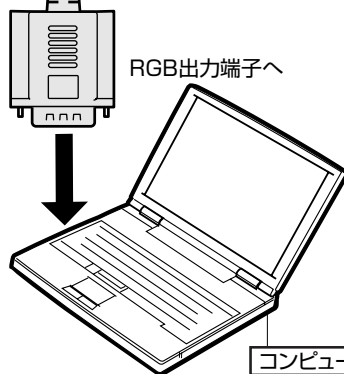
INPUT(入力)2端子へ

DVI/15ピンミニD-sub
変換アダプター
(別売品)

コンピュータ(RGB)
ケーブル(市販品)



RGB出力端子へ



コンピュータ

固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

- 固定ネジ付ケーブルが端子の形状に合っていることを確かめて差し込みます。両端のネジでしっかりと固定してください。



接続のしかた(つづき)

デジタルRGB出力端子付きコンピュータと接続する(DIGITAL INPUT)

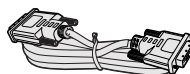
- 1 後面端子部のデジタル入力タイプ切換スイッチを「PC」側にする
- 2 別売のDVIデジタルケーブルをプロジェクターに接続する
- 3 プロジェクターに接続したケーブルをコンピュータに接続する

• ネジをしめて確実に接続してください。

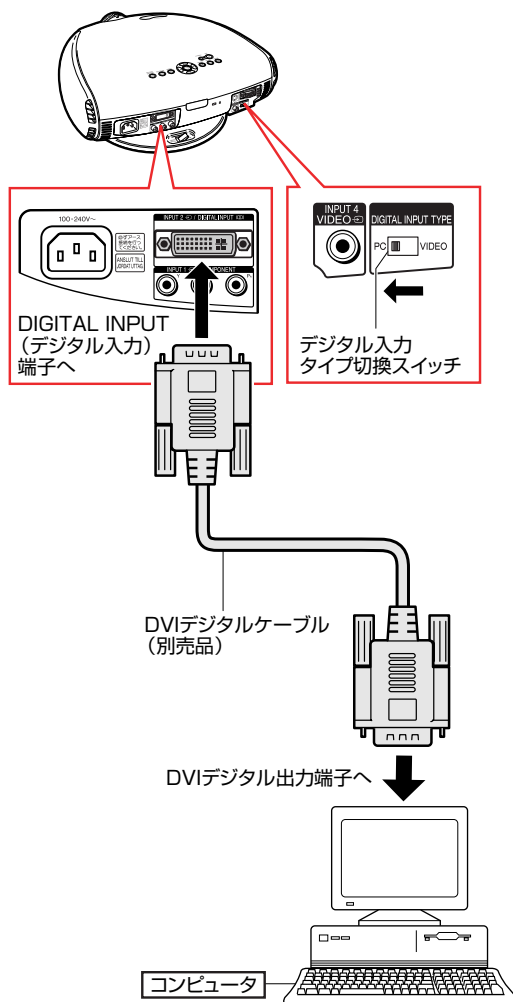
メモ

- コンピュータのデジタル出力端子と接続するときは、入力モードをデジタル入力に設定してください。(33ページ参照)
- デジタル入力タイプ切換スイッチを切り換えたり接続を始める前に、必ずプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、接続するコンピュータの電源を切ってください。すべての接続とスイッチ切替が終わったあとで、プロジェクターおよびコンピュータの電源を入れます。
- コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

別売品



DVIデジタルケーブル
形名：AN-C3DV
(3m)



「プラグ&プレイ」機能

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

- 本機のDDC プラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

プロジェクターをコンピュータで制御する

コンピュータをRS-232Cケーブルを使って接続する

RS-232Cケーブル クロス・メス・メスタイプ(市販品)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作したり、プロジェクターの状態をチェックすることができます。くわしくは67ページをご覧ください。

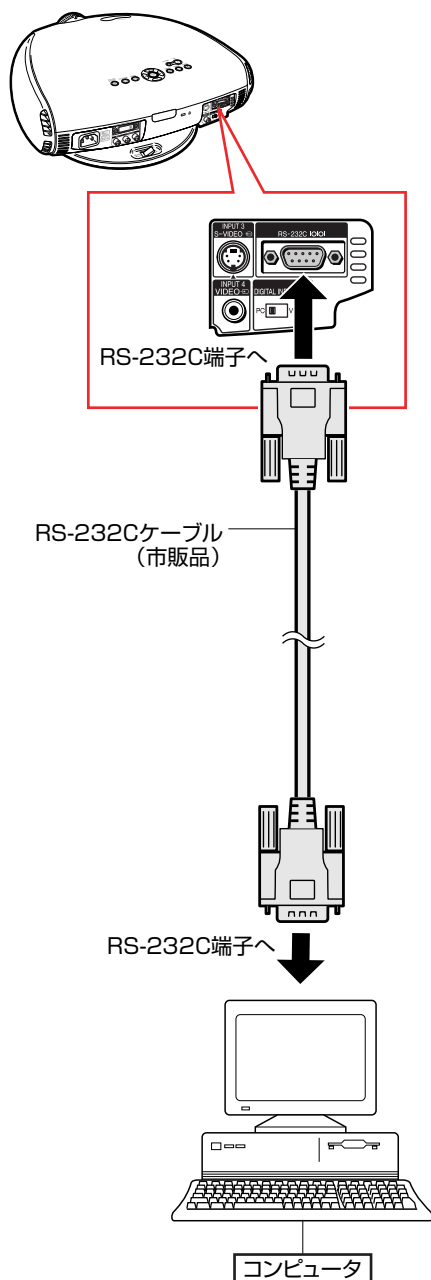
1 市販のRS-232Cケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したケーブルをコンピュータに接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

メモ

- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。
- RS-232Cの機能は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。くわしくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、68ページ「RGB入力信号(推奨信号)」についてをご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。



設置のしかた

回転スタンドの使いかた

回転スタンドを使って映像の投映角度や方向を調整することができます。

1 スタンド固定レバーをUNLOCK（解除）側に動かし、スタンドの固定を解除する

2 プロジェクターを上下左右に動かし、映像の投映角度や方向を調整する

⚠ 注意

- ・プロジェクターを動かすとき、レンズを持たないでください。
- ・プロジェクターを動かすとき、プロジェクターと回転スタンドの間に指を挟まないように注意してください。

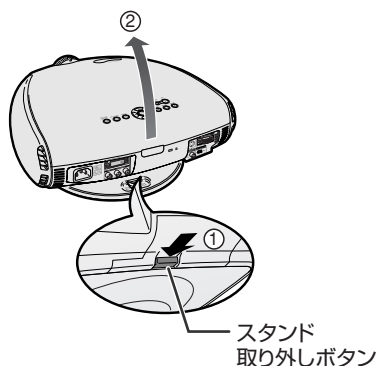
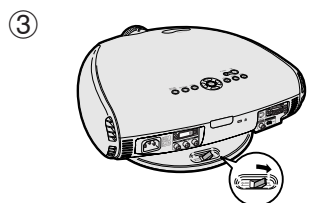
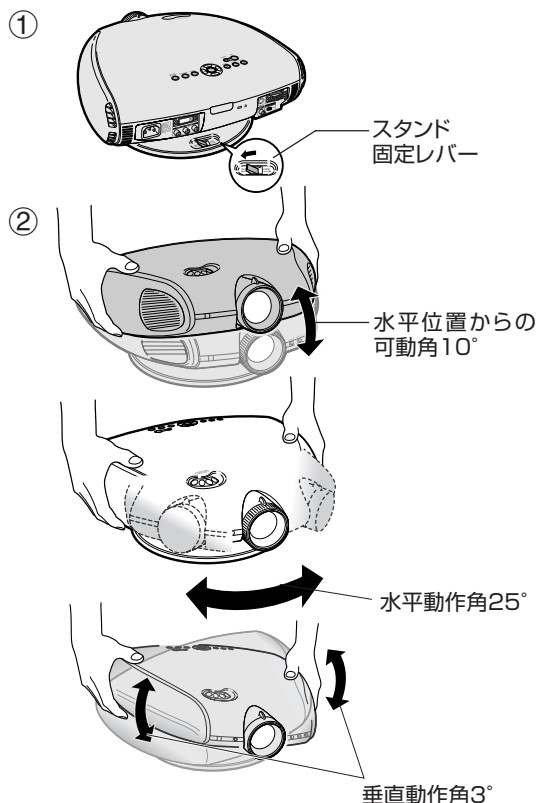
メモ

- ・プロジェクターの高さや方向を調整すると、プロジェクターとスクリーンの位置関係によっては映像に歪みが生じます。歪みを補正するキーストーン補正については、35ページをご覧ください。

3 スタンド固定レバーをLOCK（固定）側に動かし、スタンドを固定する

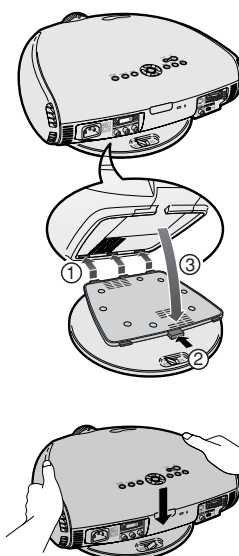
回転スタンドを取り外す

1 本体の後ろにあるスタンド取り外しボタンを押したまま（①）、本体を持ち上げて（②）、回転スタンドから取り外す



回転スタンドを取り付ける

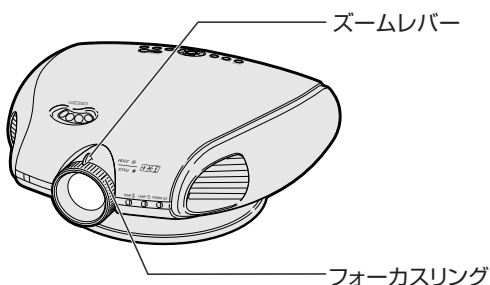
- 1 スタンドの突起を本体前面下部の穴に差し込む(①)
- 2 スタンド取り外しボタンを押しながら(②)、本体を下ろし、スタンドに取り付ける(③)
- 3 取付後、本体とスタンドを両側からしっかりおさえてロックされていることを確認する



レンズを調整する

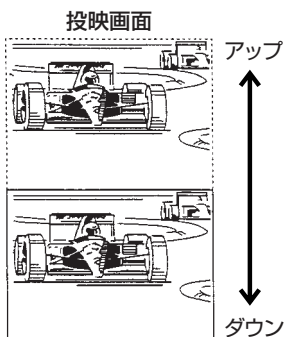
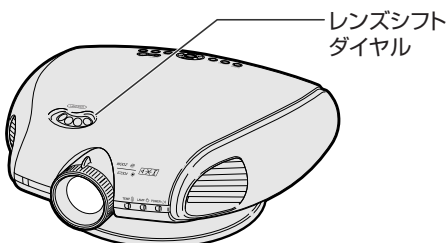
ズーム操作やフォーカス(ピント)調整は本体で行います。

- 1 フォーカス(ピント)は、フォーカスリングをまわして調整する
- 2 ズームは、ズームレバーを動かして操作する



投映画面位置を上下に移動する

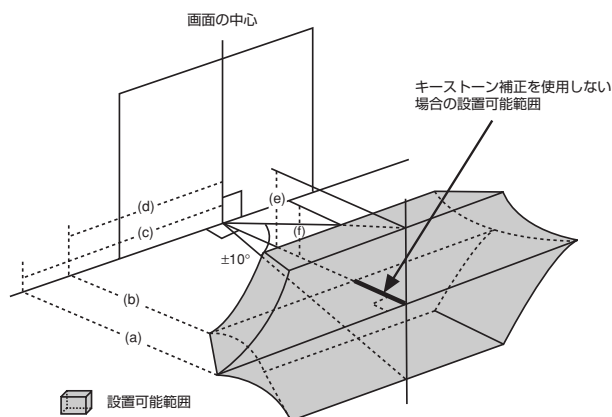
プロジェクター上面のレンズシフトダイヤルを指で回すことにより、投映画面位置を上下に移動することができます。



設置のしかた(つづき)

画面サイズと投映距離

- ・キーストーン補正機能の説明と設置のしかたについては、35～36ページをご参照ください。
- ・下記のイラストと表を参考に、スクリーンサイズと入力信号の種類に応じてプロジェクターの設置場所を決めてください。

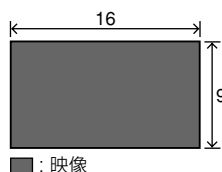


- (a) 最長投映距離
- (b) 最短投映距離
- (c) 投映距離が最長のときの水平方向の設置可能範囲
- (d) 投映距離が最短のときの水平方向の設置可能範囲
- (e) 投映距離が最長のときの垂直方向の設置可能範囲
- (f) 投映距離が最短のときの垂直方向の設置可能範囲

メモ

- ・レンズシフトが一番上以外の位置にあるときは映像の縦横比が少しずれます。
- ・HキーストーンとVキーストーンを同時に調整すると映像の縦横比が少しずれます。
- ・HキーストーンとVキーストーンの両方を補正したときは、HキーストーンまたはVキーストーンのどちらかだけを補正したときよりも、それぞれの補正可動範囲が狭くなります。
- ・メニュー等の操作表示にはキーストーン補正が働きません。
- ・キーストーン補正を行うと画像の解像度が若干落ちます。
- ・下記の近似式には、±3%の誤差があります。

16：9ワイドスクリーン使用時
16：9ワイド映像を16：9ワイドスクリーンに投映した場合

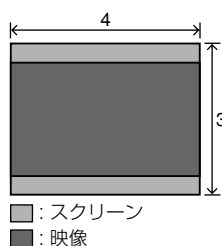


スクリーン サイズ(16:9)	投映距離とキーストーン補正								
	最長投映距離					最短投映距離			
	投映距離 (a)	水平方向の設置可能範囲(c)			垂直方向の 設置可能範囲 (e)	投映距離 (b)	水平方向の設置可能範囲(d)		
対角(型)	映像信号、 S映像信号 525i/P, 1125i	750P	RGB			映像信号、 S映像信号 525i/P, 1125i	750P	RGB	垂直方向の 設置可能範囲 (f)
200	6.4 m	1.3 m	1.5 m	1.1 m	1.1 m	5.3 m	0.9 m	1.0 m	0.9 m
150	4.8 m	0.9 m	1.1 m	0.8 m	0.8 m	3.9 m	0.6 m	0.7 m	0.6 m
130	4.1 m	0.8 m	0.9 m	0.7 m	0.7 m	3.4 m	0.6 m	0.6 m	0.5 m
110	3.5 m	0.7 m	0.8 m	0.6 m	0.6 m	2.9 m	0.5 m	0.5 m	0.4 m
100	3.2 m	0.6 m	0.7 m	0.5 m	0.5 m	2.6 m	0.4 m	0.5 m	0.3 m
90	2.8 m	0.5 m	0.6 m	0.4 m	0.4 m	2.4 m	0.4 m	0.4 m	0.3 m
80	2.5 m	0.5 m	0.5 m	0.4 m	0.4 m	2.1 m	0.3 m	0.4 m	0.2 m
70	2.2 m	0.4 m	0.5 m	0.3 m	0.3 m	1.8 m	0.3 m	0.3 m	0.2 m
60	1.9 m	0.3 m	0.4 m	0.3 m	0.3 m	1.6 m	0.2 m	0.3 m	0.2 m
40	1.2 m	0.2 m	0.2 m	0.2 m	0.2 m	1.0 m	0.1 m	0.1 m	0.1 m

スクリーンサイズと投映距離の近似式

- (a) = (0.031954888 X - 0.034060187) x = スクリーンサイズ(型)
- (b) = (0.026528341 X - 0.034646716)

4：3標準スクリーン使用時
16：9ワイド映像を横幅いっぱい4：3標準スクリーンに投映した場合



スクリーン サイズ(4:3)	投映距離とキーストーン補正								
	最長投映距離					最短投映距離			
	投映距離 (a)	水平方向の設置可能範囲(c)			垂直方向の 設置可能範囲 (e)	投映距離 (b)	水平方向の設置可能範囲(d)		
対角(型)	映像信号、 S映像信号 525i/P, 1125i	750P	RGB			映像信号、 S映像信号 525i/P, 1125i	750P	RGB	垂直方向の 設置可能範囲 (f)
200"	—	—	—	—	—	4.8 m	0.8 m	0.9 m	0.8 m
150"	4.4 m	0.8 m	1.0 m	0.7 m	0.7 m	3.6 m	0.6 m	0.7 m	0.6 m
100"	2.9 m	0.5 m	0.6 m	0.5 m	0.5 m	2.4 m	0.4 m	0.4 m	0.3 m
80"	2.3 m	0.4 m	0.5 m	0.4 m	0.4 m	1.9 m	0.3 m	0.3 m	0.2 m
70"	2.0 m	0.4 m	0.4 m	0.3 m	0.3 m	1.7 m	0.2 m	0.3 m	0.2 m
60"	1.7 m	0.3 m	0.4 m	0.3 m	0.3 m	1.4 m	0.2 m	0.2 m	0.1 m
40"	1.1 m	0.2 m	0.2 m	0.2 m	0.2 m	0.9 m	0.1 m	0.1 m	0.1 m

スクリーンサイズと投映距離の近似式

- (a) = (0.029330688 X - 0.034060187) x = スクリーンサイズ(型)
- (b) = (0.02434978 X - 0.034646716)

スクリーンを設置する

- 本機は画面を上下に移動できるレンズシフト機能を備えています。
- 配置した場所に合わせて投射の高さを調節してください。
- レンズシフトを使うと最大でスクリーン1つ分の高さを垂直移動することができます。

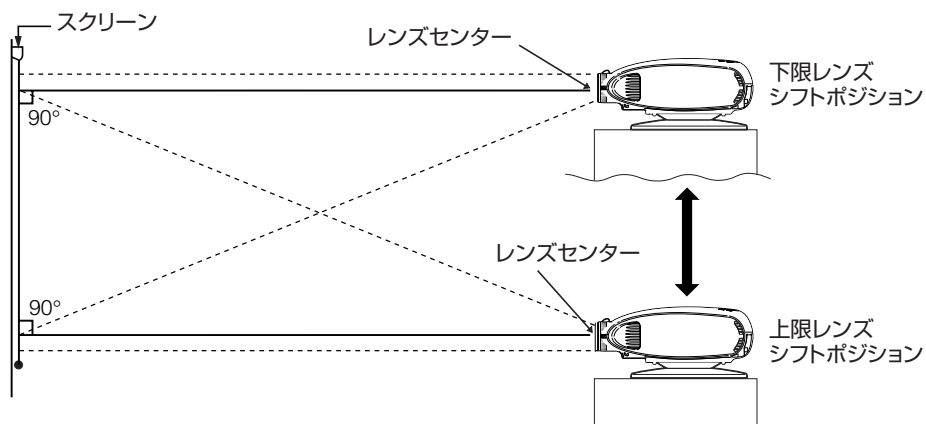


メモ

- プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

スクリーンサイズ：100型（254 cm）

16:9映像投射時

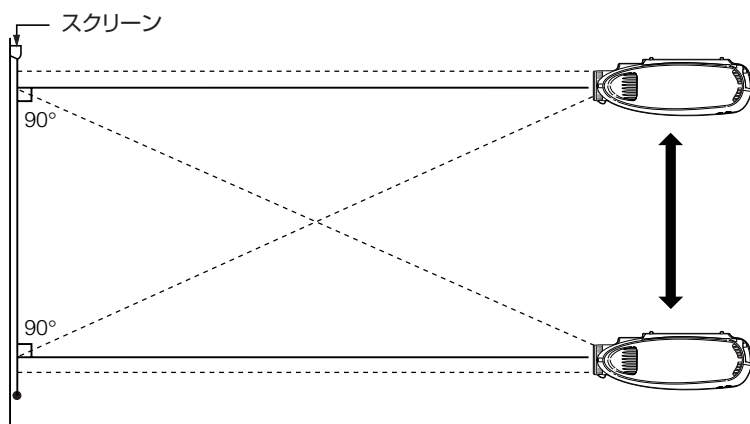


スクリーンを設置する（天吊り）

- 本機を天井に取り付けて使うときは、スクリーンの上端を基底とし、レンズシフトを上下に反転させます。

スクリーンサイズ：100型（254 cm）

16:9映像投射時

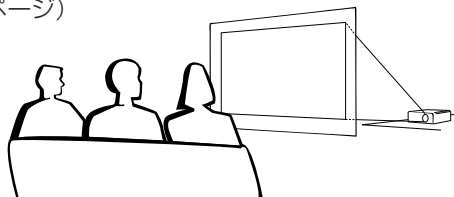


設置のしかた(つづき)

反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

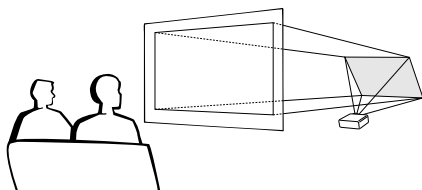
- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(58ページ)



- プロジェクターの高さを水平にしてスクリーンに対して垂直にすると、最適な映像を投映できます。

ミラーを使った投映

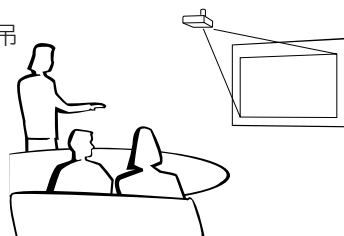
- レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。



- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

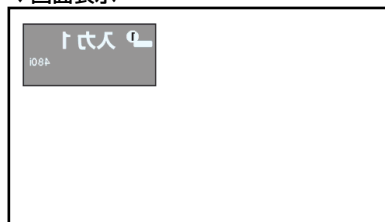
天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプター「AN-60KT」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
- 天井に取り付ける前に回転スタンドを取り外してください。(回転スタンドの取り付け・取り外しかたについては26～27ページをご覧ください。)
- メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(58ページ)



工場出荷時の設定で投映すると…

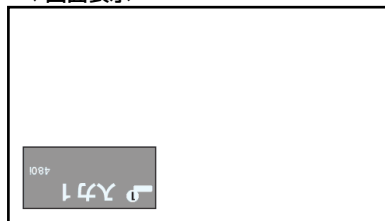
▼画面表示



映像の左右を反転します

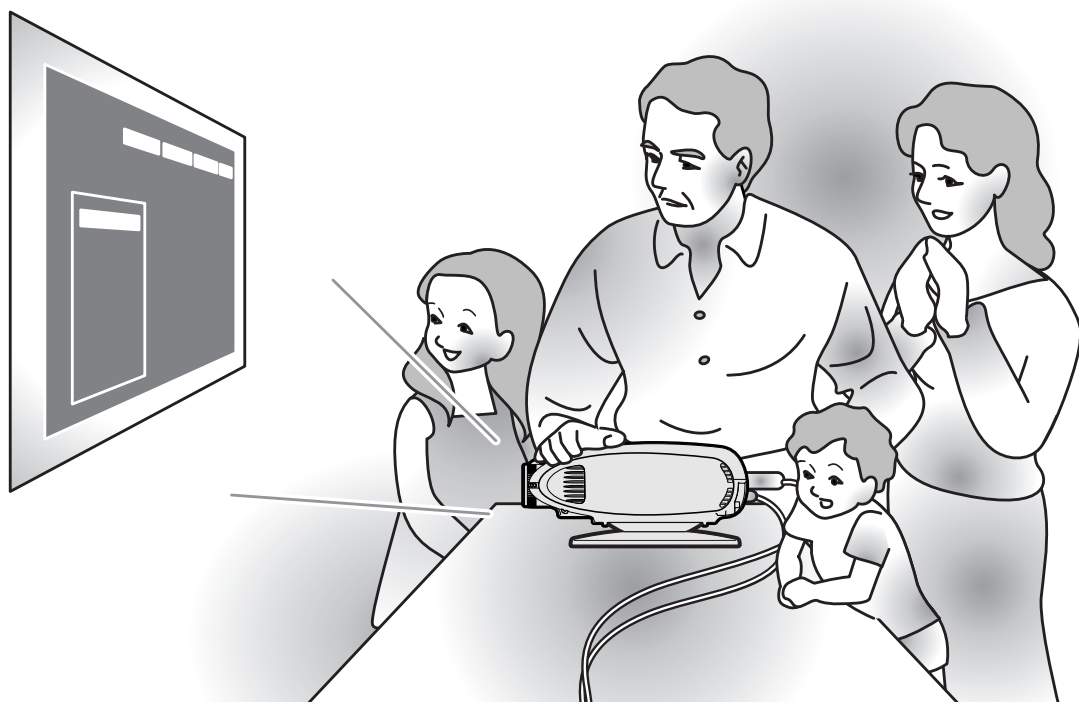
工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の上下を反転します

基本操作

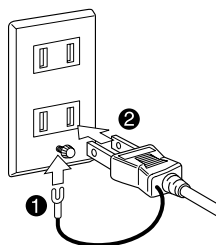


投映のしかた

電源を入れる

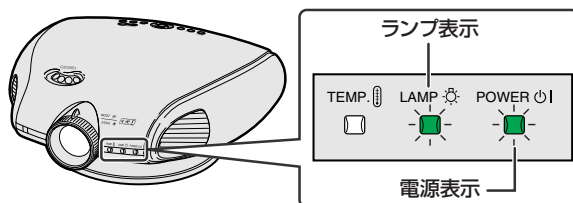
操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。

1 アースコードを取り付ける



2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。



3 リモコンの または本体の を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。ランプ表示が点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。
- 電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

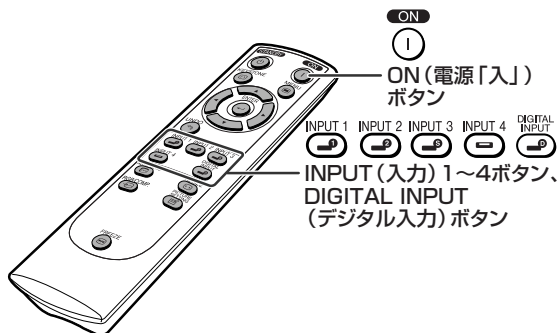
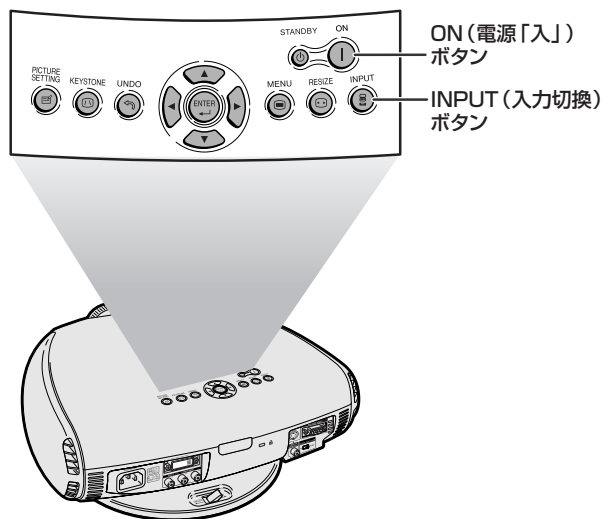
メモ

- プロジェクターをお買い上げ後最初に電源を入れたとき、排気孔からわずかに匂いがする場合がありますが、ご使用にともない、なくなります。
- ランプ表示はランプの状態をお知らせします。

緑色点灯: ランプ点灯中

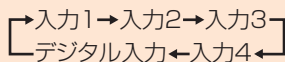
緑色点滅: ランプ起動中/
ランプ消灯処理中

赤色点灯: ランプ交換



4 リモコンの 、、、、 または本体の を押し、入力モードを選ぶ

- 本体の  を押すと、



の順番で切り換わります。

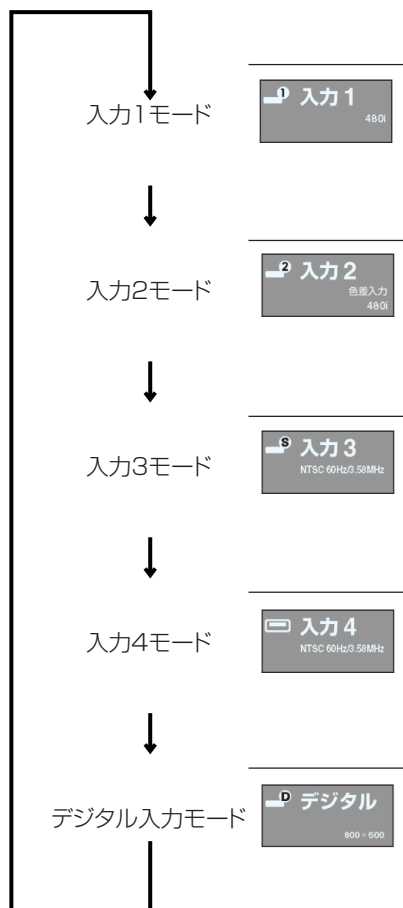


- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。

入力モードについて

入力1 (色差)	入力端子1に接続した機器を 投影したいとき
入力2 (色差/RGB)	入力端子2に接続した機器を 投影したいとき
入力3 (Sビデオ)	入力端子3に接続した機器を 投影したいとき
入力4 (ビデオ)	入力端子4に接続した機器を 投影したいとき
デジタル 入力	デジタル入力端子に接続した 機器を投影したいとき

▼表示画面(例)



投映のしかた(つづき)

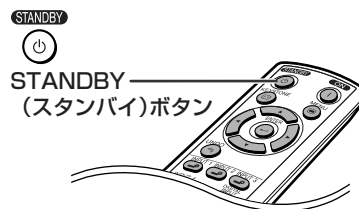
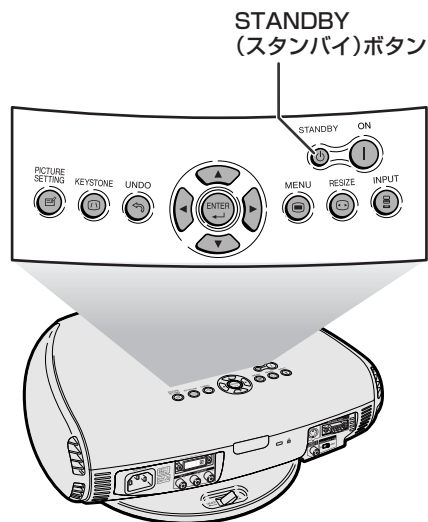
電源を切る(待機状態にする)ときは

- 1** リモコンの  または本体の  を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、 または  を押す

- ランプへのダメージを減らすため、少しの間うす暗い画面がスクリーンに表示されます。



- 間違って  を1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、操作に戻ることができます。



▼画面表示



プロジェクターを待機状態にしますか？
決定: もう一度押す 中止: 少し待つ



終了中です。しばらくお待ちください。

2 冷却ファンが停止したら、電源プラグをコンセントから抜く

📖 お知らせ

- 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。
- アンプ等と接続して使用している場合に電源を切るときは、接続している機器の電源を切ってからプロジェクターの電源を切ってください。

画面の台形歪みを補正する (キーストーン補正)

キーストーン(画面の台形歪み)補正が行えます。

メモ

※キーストーン補正とは

- 映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。

- 本体の KEYSTONE  を押して、キーストーン補正を行うこともできます。

1 KEYSTONE を押す

2 ▲または▼を押し、補正する方向を選択する

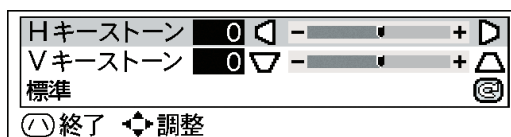
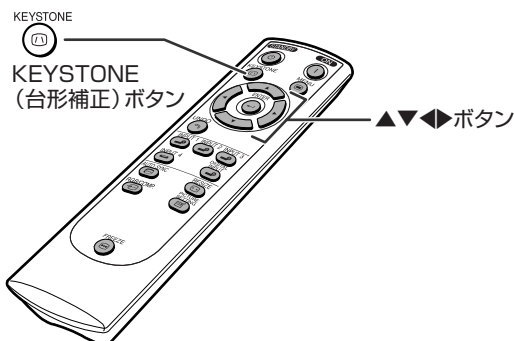
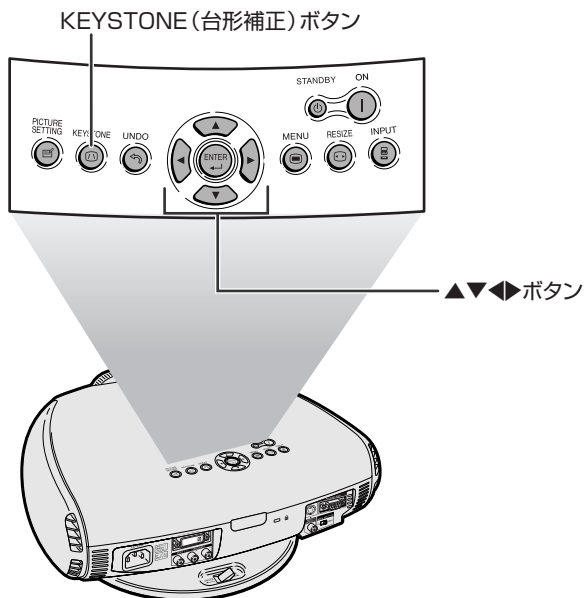
方向	説明
H キーストーン	水平方向の台形補正を行います。
V キーストーン	垂直方向の台形補正を行います。
標準	水平および垂直方向の台形補正を工場出荷時の設定に戻します。

3 ◀または▶を押し、▼を動かして調整する

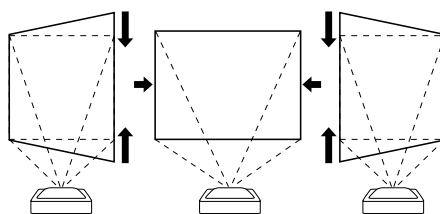
メモ

- キーストーン補正をすると、投映画像の直線や映像の端がギザギザになっているように見える場合があります。
- 水平方向と垂直方向の両方を補正したときは、水平方向/垂直方向のどちらかだけを補正したときよりも、それぞれの補正可動範囲が狭くなります。
(例) Hキーストーンを最大にしたときは、Vキーストーンは可変幅が微少になります。
- 画面サイズが「ワイド」のときは、キーストーン補正は動きません。(38ページ)

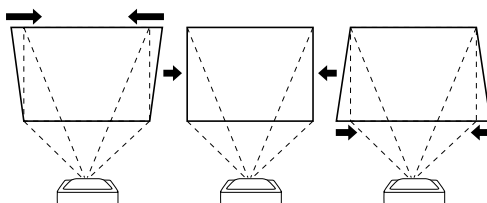
4 KEYSTONE を押し、終了する



水平方向の台形補正



垂直方向の台形補正



投映のしかた(つづき)

キーストーン補正を使って投映する場合の設置方法

28ページの「画面サイズと投映距離」をご覧ください。プロジェクターをスクリーンに対して投映可能な範囲におきます。

1 映像を投映します。
このとき、フォーカスを合わせておきます。(27ページ)

2 回転スタンドで投映角度を変えて、スクリーンに投映します。(26ページ)

3 ズーム機能(27ページ)と回転スタンドを調節して、プロジェクターに近い方のスクリーンの端と投映している映像の端を合わせます。

4 スクリーンと映像のサイズが合うようにキーストーン機能で調整します。(35ページ)

5 ズーム機能と回転スタンドを調節してスクリーンと映像を合わせます。

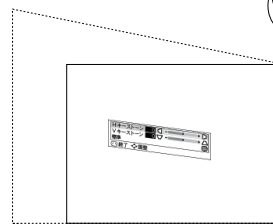
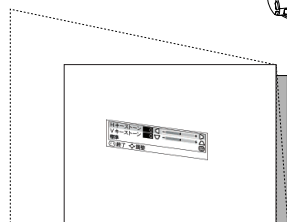
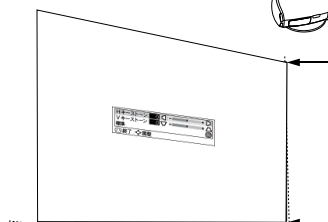
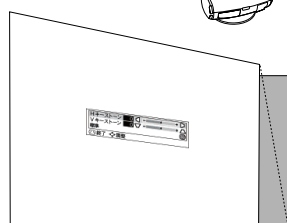
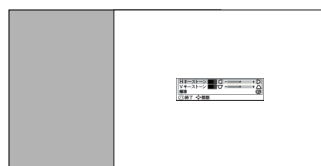
6 最後に画面の中央にフォーカスが合うよう調整します。(27ページ)

メモ

- ・レンズシフトが一番上以外の位置にあるときは映像の縦横比が少しずれます。
- ・HキーストーンとVキーストーンを同時に調整すると映像の縦横比が少しずれます。



■ : スクリーン



投映中の画像を静止画にする

投映中の画像を静止画にすることができます。

1

FREEZE

を押す

- 投映中の画像が静止画になります。

2

FREEZE

を再度押すと、接続した機器の現在の画像に戻る



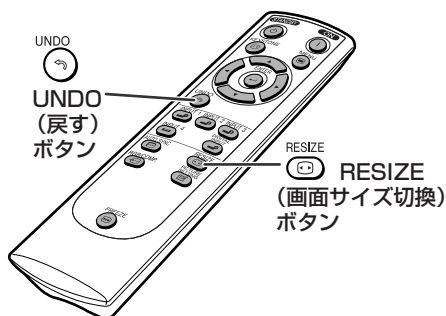
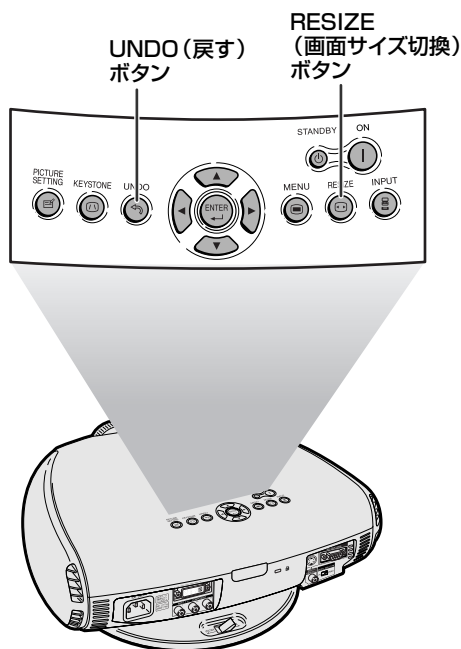
入力信号の種類によって、画面サイズを切り換える

入力された映像の画質をよくするために、画面サイズを切り換えることができます。「標準」、「ワイド」、「ズーム」、「スクイーズ」から選択できます。

RESIZE

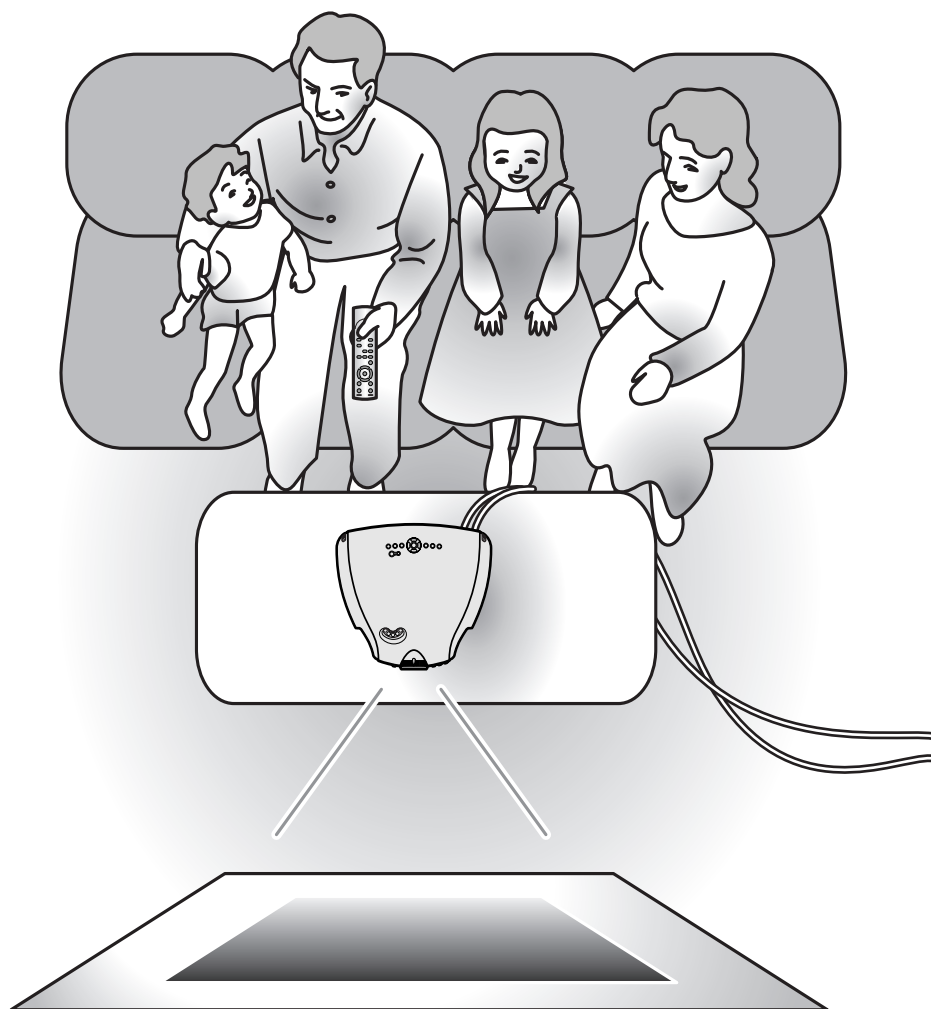
を押す

- を押すごとに、画面サイズは次のページのように変わります。
- 初期の状態に戻るには、「画面サイズ」が画面に表示されているとき、を押してください。
- 本体の を押して、画面サイズを切り換えることもできます。



######

調整・設定をする

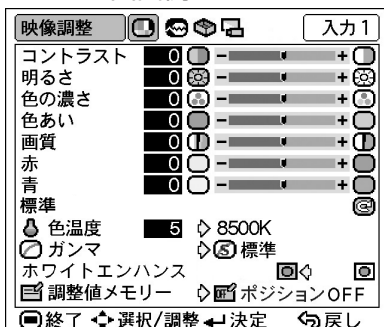


メニュー操作のしかた

このプロジェクターの調整や設定は、メニュー画面で行います。(入力モードによって、メニュー内容は変わります。)

メニューの操作は、プロジェクター本体、またはリモコンで行います。

メニュー画面例



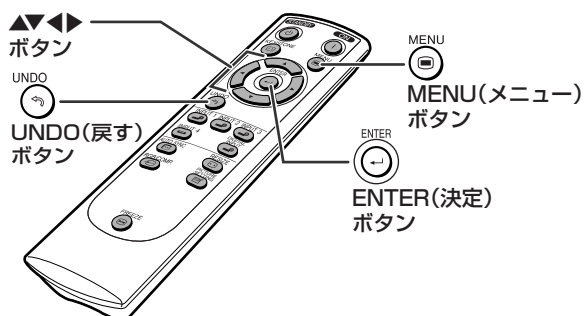
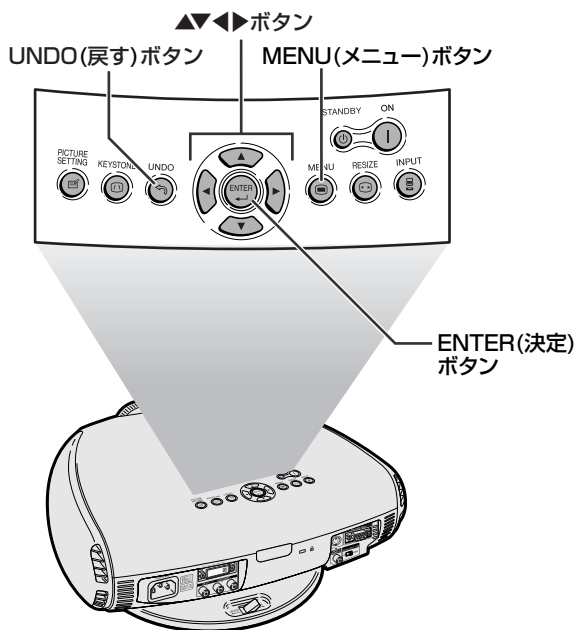
メニューの基本操作 (調整)

1 MENU を押す

- メニュー画面が表示されます。

メモ

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ◀または▶を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション
	投映方式

メモ

- 入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。
- メニューの項目については44～45ページの「メニュー表示内容一覧」をご覧ください。

3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

メモ

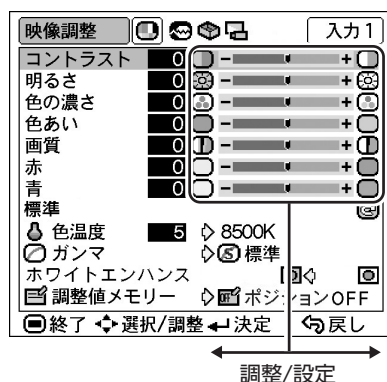
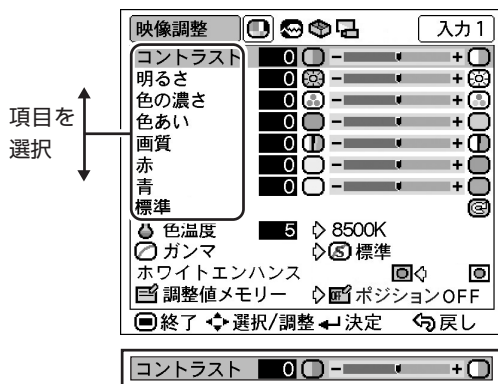
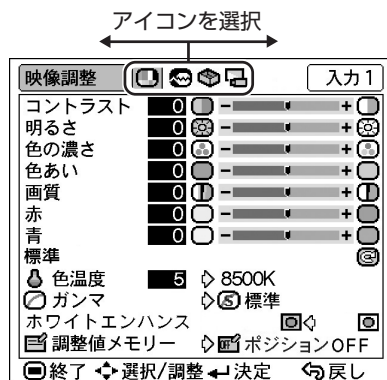
- 映像を見ながら調整したい場合は、調整する項目を選んだ後でを押してください。選んだ調整項目だけが表示されます。この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目（「コントラスト」の次は「明るさ」）が表示されます。
- を押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整（設定）をする

- 調整した内容が記憶されます。

5 MENUを押す

- メニュー画面が消えます。



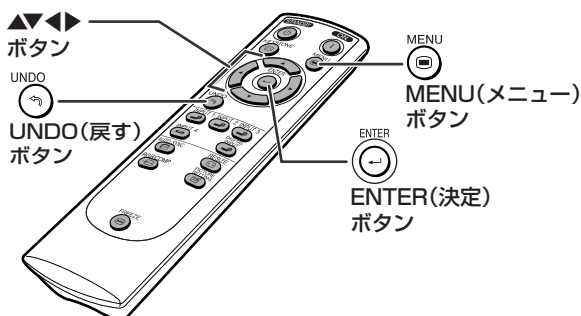
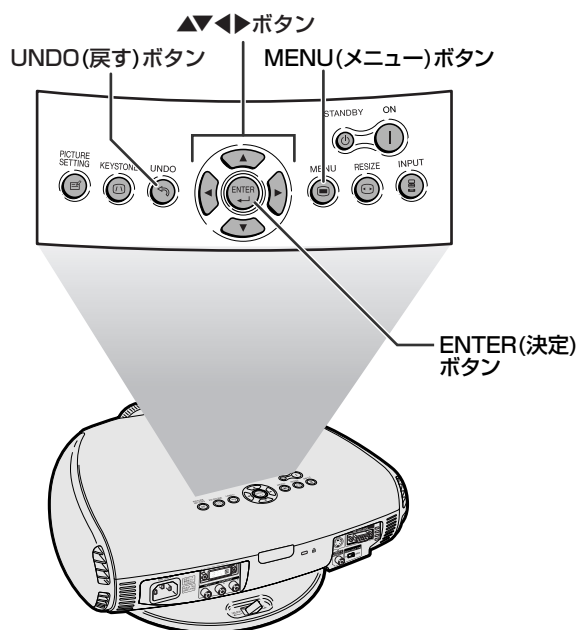
メニュー操作のしかた(つづき)

メニューの基本操作(設定)

1 MENU を押す

メモ

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。



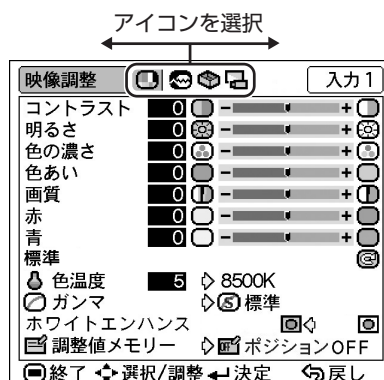
2 ◀または▶を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション
	投映方式

メモ

- 入力3または入力4のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。
- メニューの項目については44～45ページの「メニュー表示内容一覧」をご覧ください。

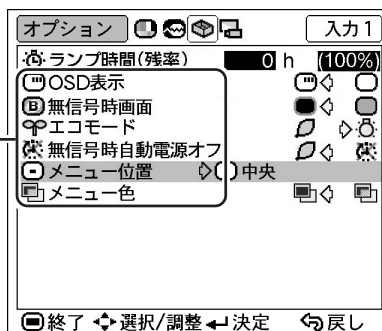


3 ▲または▼を押し、設定する項目を選ぶ



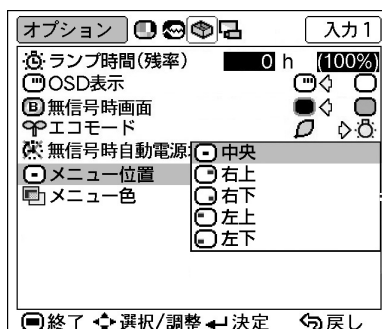
- を押すと、前の画面に戻ります。

項目を
選択

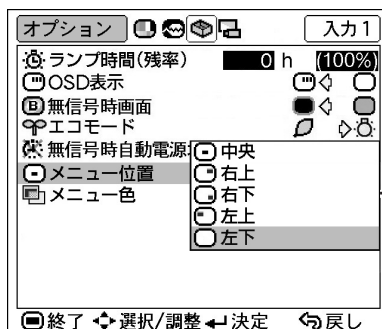


4 ▶を押す

- カーソルがサブメニューに移ります。
- 設定項目によっては、サブメニューは表示されずに◀または▶を押し、↷の向きでアイコンを選び設定する項目があります。設定後は、手順7へ進みます。



5 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ



6 を押す

- 選んだ項目が設定されます。

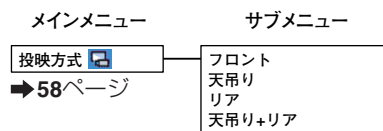
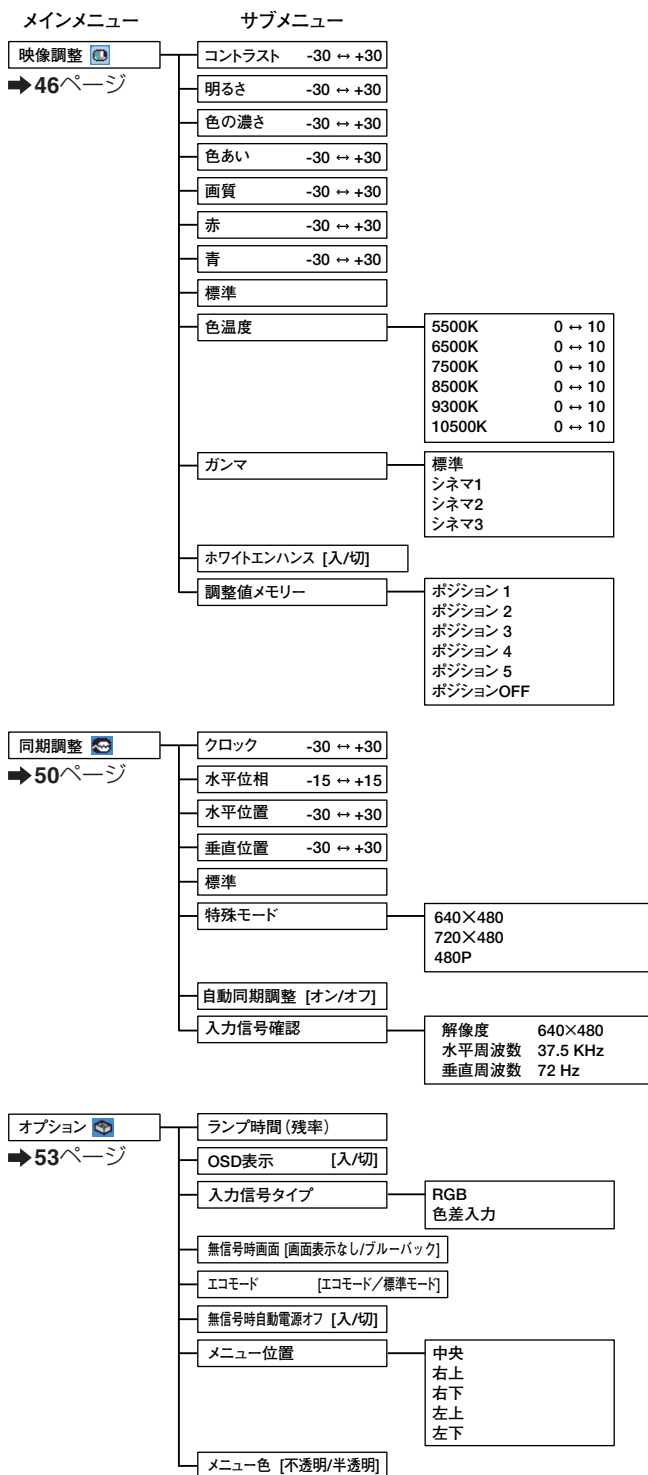
7 を押す

- メニュー画面が消えます。

メニュー表示内容一覧

プロジェクターで設定できる項目を示します。

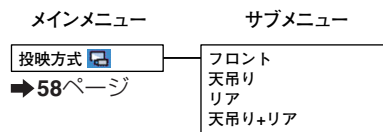
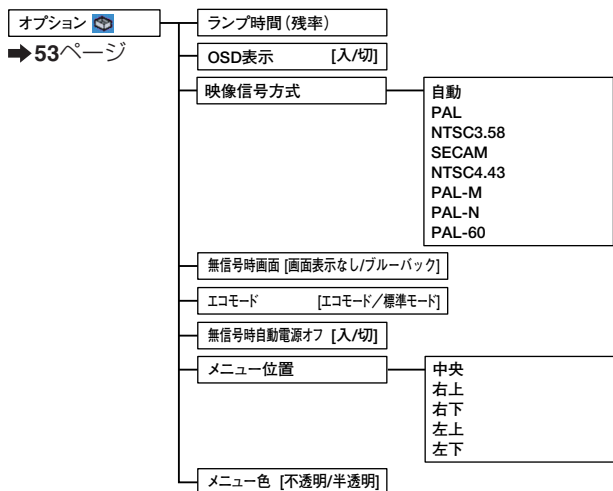
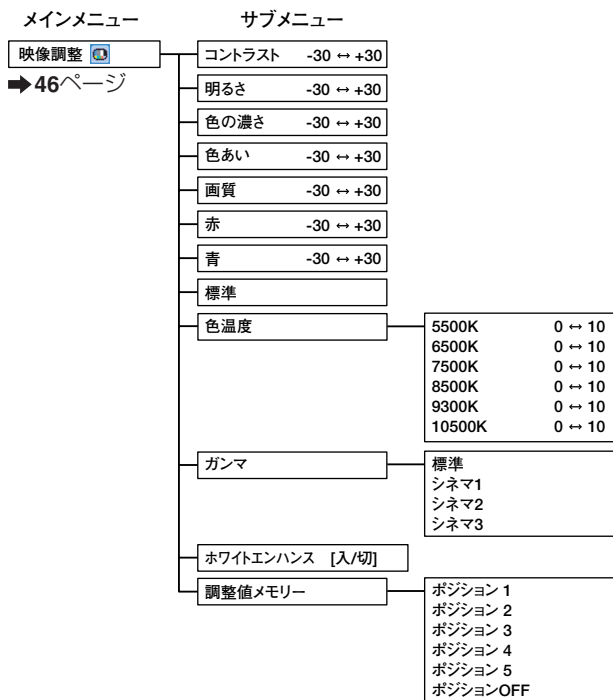
■入力1/2モード、デジタル入力モードのとき



メモ

- チャートに示された解像度、垂直周波数、水平周波数の値は例として表示しています。
- 入力2モードの「映像調整」メニューで「色の濃さ」「色あい」「画質」は入力信号タイプが「色差入力」に設定されているとき表示できる調整項目です。
- 「入力信号タイプ」は、入力1モードのときは表示されません。
- デジタル入力モードでは、「色の濃さ」「色あい」「画質」「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」「特殊モード」「自動同期調整」の調整はできません。
- 「入力信号タイプ」を「色差入力」にしたときは、「クロック」「水平位相」「自動同期調整」の調整はできません。

■入力3/4モードのとき



- メモ
- 「PAL」「SECAM」「PAL-M」「PAL-N」「PAL-60」の信号では、「映像調整」メニューの「色あい」は調整できません。

映像を調整する

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

見やすい映像に調整する

メモ

- 「映像調整」メニューで設定する内容を保存しておきたい場合は、先に調整値メモリー（ポジション1～5、またはポジションOFF）を選択してください。（49ページ）

メニュー画面で「映像調整」メニューを選び設定する
メニュー画面の調整 ➡ 40ページ参照

画面表示



調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる

メモ

- INPUT (入力) 2を選んでいるとき、「入力信号タイプ」が「RGB」のときは「色の濃さ」「色あい」「画質」は、表示されません。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「標準」を選び  を押します。
- INPUT (入力) 3またはINPUT (入力) 4を選んでいるとき、「PAL」「SECAM」「PAL-M」「PAL-N」「PAL-60」の信号では、「色あい」は調整できません。
- デジタル入力モードのとき、「色の濃さ」「色あい」「画質」の調整はできません。

色温度を設定する

色温度の数値を高い方にしていくと青みがかった映像に、数値を低い方にしていくと赤みがかった映像になります。

メニュー画面で「映像調整」メニューの「色温度」を選び設定する

メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

選択項目	内 容
5500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき)
6500K	
7500K	
8500K	
9300K	青みがかった映像になります (冷たい感じの色にしたいとき)
10500K	

「色温度」は微調整することができます。

微調整するときは、次の手順で行います。

1 「映像調整」メニュー画面で「色温度」にカーソルを合わせ、を押す

- 項目「色温度」がひとつだけ表示されます。

2 ▲または▼を押し、色温度を微調整する

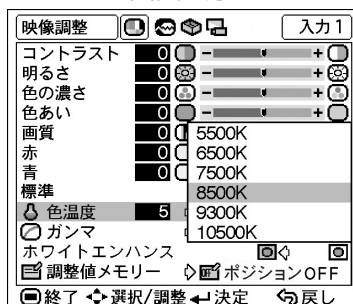
- 色温度の数値を高い方にしていくと緑がかった映像に、低い方にしていくと赤みがかった映像になります。
- ◀または▶を押すと、この表示のままで色温度を選択することができます。



メモ

- 「色温度」の設定項目はおおよその数値です。

画面表示



映像を調整する(つづき)

ガンマ補正を設定する

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見えにくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくなります。映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、より見やすい映像が楽しめます。

メニュー画面で「映像調整」メニューの「ガンマ」を選び設定する

メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

選択項目	内 容
5 標準	標準設定です。
1 シネマ1	画面の暗い部分の階調表現を強調して豊かにします。
2 シネマ2	ギラつきをおさえて落ち着いたトーンになります。
3 シネマ3	画像の暗い部分の輝度を高め、少し照明の残った部屋で画像を見やすくします。

ホワイトエンハンスを設定する

映像のうちの高輝度部分を強調することができます。

メニュー画面で「映像調整」メニューの「ホワイトエンハンス」を選び設定する

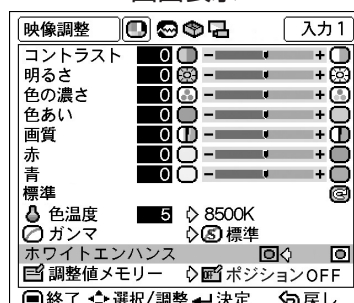
メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

選択項目	内 容
入 (入)	ホワイトエンハンス機能が「入」になります。
切 (切)	ホワイトエンハンス機能が「切」になります。

画面表示



画面表示



画面調整の内容を登録する

「映像調整」メニューで設定する内容を登録することができます。登録した内容は、入力モードや入力信号タイプに関係なく、後から呼び出して使用することができます。

■登録するとき

「映像調整」メニューで設定する前に、登録するポジションを選択しておきます。

メニュー画面で「映像調整」メニューの「調整値メモリー」を選びポジション番号を選択する

メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

選択項目	内 容
ポジション1 } ポジション5	「映像調整」メニューのすべての項目の調整値が選択したポジションに登録されます。 登録された調整値は、どの入力モードからでも呼び出すことができます。
ポジションOFF	各入力モードで設定した映像調整値がそのまま記憶されます。ここで記憶された調整値は、他の入力モードを選択した場合には反映されません。

■登録した内容を呼び出すとき

登録したポジションを選択すると、「映像調整」メニューの内容は登録されているポジションの内容に変わります。

■登録した内容を変更するとき

内容を変更するポジションを選択してから、「映像調整」メニューの内容を変更します。

メモ

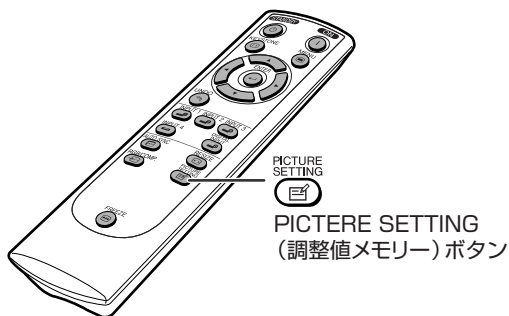
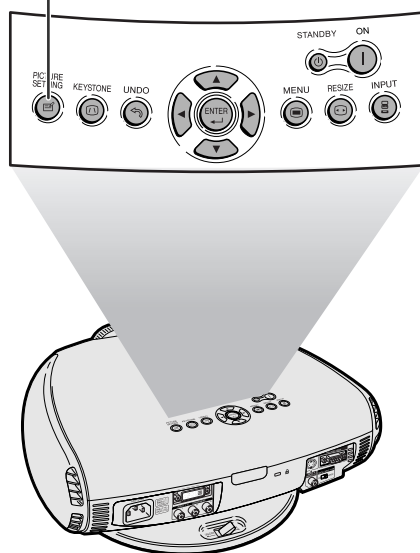
- リモコンの  または本体の  を押すと、ダイレクトに「調整値メモリー」の内容を選択することもできます。押すたびに、「ポジション1」～「ポジション5」、「ポジションOFF」の順で切り換わります。

→ ポジション1 → ポジション2 → ポジション3
→ ポジションOFF ← ポジション5 ← ポジション4 ←

画面表示



PICTURE SETTING (調整値メモリー) ボタン



コンピュータの映像を調整する

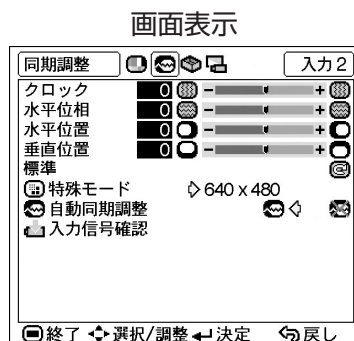
縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

自動同期調整がOFFのとき

自動同期調整がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキや縦縞が出るなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

メニュー画面で「同期調整」メニューの「クロック」、「水平位相」、「水平位置」、「垂直位置」を選び調整する

メニュー画面の調整 ➡ 40ページ参照



調整項目	内 容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する（トラッキング調整）
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる

メモ

- デジタル入力モードでは、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の調整はできません。
- 「入力信号タイプ」を「色差入力」にしたときは、「クロック」「水平位相」の調整はできません。
- コンピュータの映像はリモコンの  を使うと、簡単に調整できます。くわしくは52ページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「標準」を選び  を押します。
- それぞれの項目の調整範囲は、入力信号により変わることがあります。

特殊モード調整

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

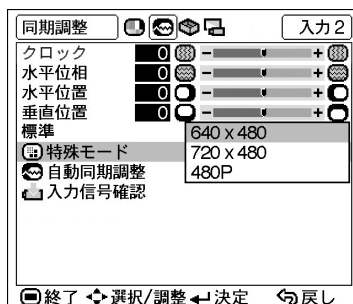
メニュー画面で「同期調整」メニューの「特殊モード」を選び解像度を設定する

メニュー画面の設定 ➡ [42ページ参照](#)

メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させないでください。（チラツキがおこり、画面が見にくくなります。）
- ビデオ機器の750P信号を入力したときは「720P」を選んでください。コンピュータからの1280×720信号を入力したときは、「HTPC」を選んでください。
- デジタル入力モードのときは、「特殊モード」は設定できません。

画面表示



コンピュータの映像を調整する(つづき)

自動同期調整

コンピュータの画面を自動調整します。

プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で信号を切り換えたときに、自動同期調整をするかしないかを選択することができます。

メニュー画面で「同期調整」メニューの「自動同期調整」を選び設定する

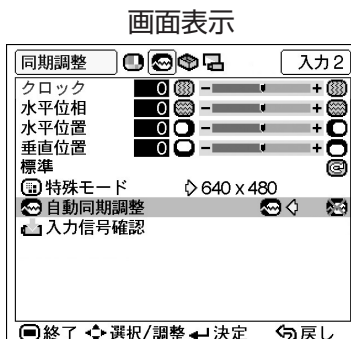
メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

選択項目	内 容
 (オン)	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
 (オフ)	自動的に同期調整を行いません。

メモ

同期調整を手動で行うとき

- 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で同期調整をしてください。(50ページをご覧ください。)
- プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。
- デジタル入力モードのときは、「自動同期調整」は設定できません。
- 自動同期調整は、リモコンの  を押しても働きます。



入力信号情報を表示する

この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

メニュー画面で「同期調整」メニューの「入力信号確認」を選び確認する

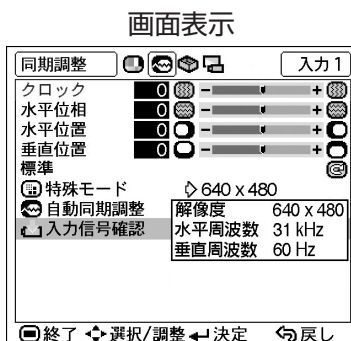
メニュー画面の確認 ➡ 42ページ参照

メモ

- DVDプレーヤーやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号では、有効走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示
525I	480I
525P	480P
750P	720P
1125I	1080I

- DVI 1125I信号を入力したときは、540Pと表示されます。



オプションメニューで本機を楽しむための設定をする

ランプ使用時間を確認する

ランプの使用時間と残率が表示されます。

メニュー画面で「オプション」メニューを選び「ランプ時間(残率)」を確認する

メニュー画面の確認⇒42ページ参照

ランプ使用条件	ランプ残率	
	100%	5%
常に「  」(エコモード)にして使用	約4,000時間	約200時間
常に「  」(標準モード)にして使用	約3,000時間	約150時間

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
 - 上の表は、「」(エコモード)または「」(標準モード)で継続使用した場合を例に記載しています。
 - ランプ残率(%)は「」(エコモード)または「」(標準モード)へ切り換える割合により増減します。(55ページ)
- ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター(70ページ)にお問い合わせください。

画面に表示されている情報を消す

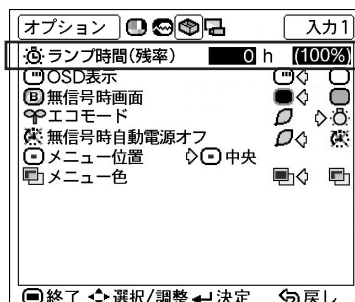
この機能を使うと、INPUT(入力切換)ボタンを押したときなどに表れる画面の表示を、表示させたり消したりすることができます。

メニュー画面で「オプション」メニューの「OSD表示」を選び設定する

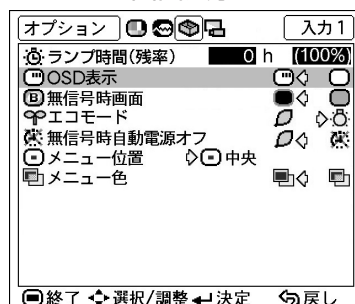
メニュー画面の設定⇒42ページ参照

選択項目	内 容
 (入)	画面表示のすべてが表示されます。
 (切)	入力モード表示、静止画表示、自動同期調整表示、「無効なボタンが押されました」は表示されません。

画面表示



画面表示



オプションメニューで本機を楽しむための設定をする(つづき)

入力信号を設定する

INPUT(入力)2端子に接続した機器の入力信号に合わせてRGBかコンポーネント(色差)を選択します。

入力2モードのメニュー画面で「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を選び設定する

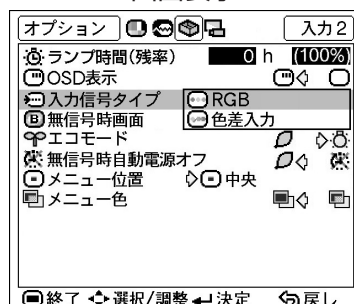
メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

選択項目	内 容
 RGB	RGB信号を入力したときに設定します。
 色差入力	コンポーネント(色差)信号を入力したときに設定します。

メモ

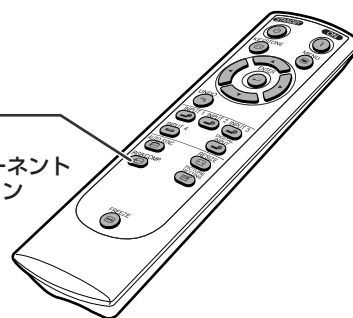
- 「入力信号タイプ」画面は、リモコンの  を押しても切り換えできます。(入力2モードでのみ働きます。)

画面表示



RGB/COMP.

RGB/COMP.
(RGB/コンポーネント
信号切換) ボタン



映像信号方式を設定する (INPUT3/INPUT4のみ)

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

メニュー画面で「オプション」メニューの「映像信号方式」を選び設定する

メニュー画面の設定 ➡ 42ページ参照

メモ

- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。
- 「自動」では、PAL-MとPAL-Nには対応していません。入力信号がPAL-MまたはPAL-Nの時は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。

画面表示



無信号時画面を設定する

プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選ぶことができます。

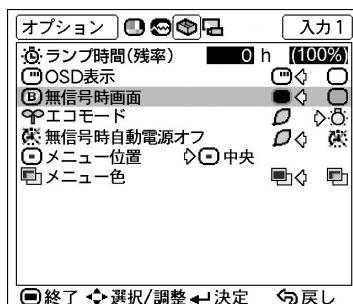
メニュー画面で「オプション」メニューの「無信号時画面」を選び設定する

メニュー画面の選択⇒42ページ参照

選択項目	内 容
 (ブルーバック)	青い画面(ブルーバック)になる
 (画面表示無し)	黒い画面になる

入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。

画面表示



エコモードを設定する

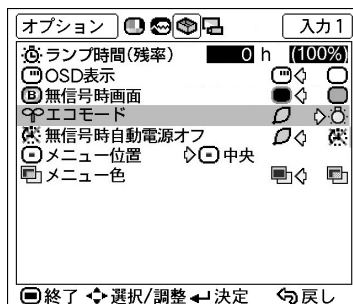
消費電力が低減するよう設定することができます。

メニュー画面で「オプション」メニューの「エコモード」を選び設定する

メニュー画面の選択⇒42ページ参照

選択項目	輝度	消費電力	ランプ寿命
 (エコモード)	80%	230 W	約4,000時間
 (標準モード)	100%	285 W	約3,000時間

画面表示



メモ

- ・「」(エコモード)を選択すると、消費電力とファン音が低減します。(投映画面の輝度も約20%低減します。)
- ・工場出荷時は「」(標準モード)に設定されています。

オプションメニューで本機を楽しむための設定をする(つづき)

無信号時に電源を待機状態にする

無信号時自動電源オフ機能が「」(入)に設定されているときは、15分以上入力信号が検出されないとプロジェクターの電源が自動的に待機状態になります。

メニュー画面で「オプション」メニューの「無信号時自動電源オフ」を選び設定する

メニュー画面の選択⇒42ページ参照

選択項目	内 容
 (入)	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
 (切)	無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

メモ

- 工場出荷時は「」(入)に設定されています。
- 無信号時自動電源オフ機能が「」(入)に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、残り時間を表示するために「●分後に待機状態」の表示が出ます。

メニューの位置を設定する

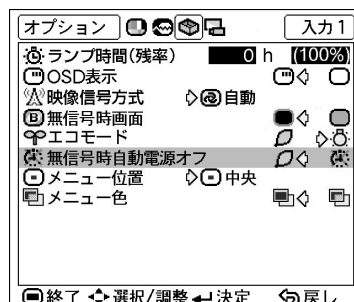
メニュー画面をスクリーンのどこに表示させるのかを設定できます。

メニュー画面で「オプション」メニューの「メニュー位置」を選び設定する

メニュー画面の設定⇒42ページ参照

選択項目	内 容
 中央	スクリーン中央にメニュー画面が表示されます。
 右上	スクリーン右上にメニュー画面が表示されます。
 右下	スクリーン右下にメニュー画面が表示されます。
 左上	スクリーン左上にメニュー画面が表示されます。
 左下	スクリーン左下にメニュー画面が表示されます。

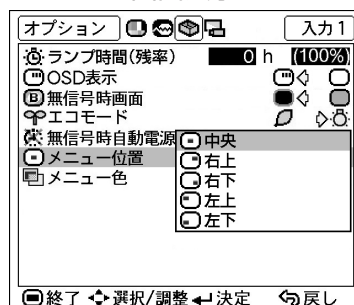
画面表示



1分後に待機状態



画面表示



メニューの色を設定する

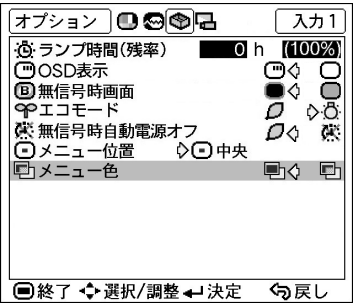
メニュー表示を不透明にするのか半透明にするのか選択できます。

メニュー画面で「オプション」メニューの「メニュー色」を選び設定する

メニュー画面の選択⇒42ページ参照

選択項目	内 容
 (不透明)	メニュー表示内の背景色が青くなります。
 (半透明)	メニュー表示内が半透明になります。メニュー表示の一部は透明になります。

画面表示



映像を左右反転／上下反転する

このプロジェクターは映像左右／上下反転機能を備えており、投映された映像を左右反転・上下反転することができ、いろいろな対応が可能です。

投映方式の設定

メニュー画面で「投映方式」メニューを表示し、投映方式を選択する

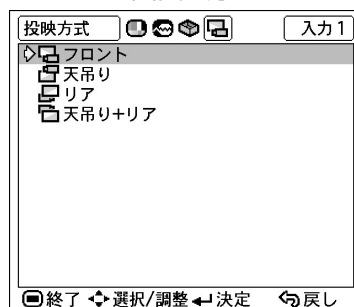
メニュー画面の選択 ➡ 42ページ参照

選択項目	画 面
 フロント	通常映像
 天吊り	上下反転された映像
 リア	左右反転された映像
 天吊り+リア	左右／上下反転された映像

メモ

- この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については30ページをご覧ください。

画面表示

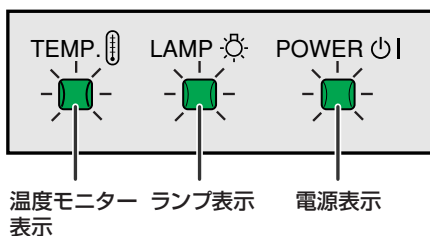


付録



お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し待機状態になります。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が点灯します。さらに温度が上昇すると、光源（ランプ）が消灯し、プロジェクターの温度モニター表示（ランプ）が点滅、90秒のファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「温度」の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



ランプ交換お知らせ機能について



ランプを交換してください。

- 「ランプ時間（残率）」は、「エコモード」設定を「」（エコモード）にして約4,000時間使用するか、「」（標準モード）にして約3,000時間使用すると0%になります。くわしくは**55**ページをご覧ください。
- ランプ残率が5%以下になると、「」（黄色）」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「」（赤色）」が画面に表示され、自動的にランプ（光源）が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

	お知らせ表示		現 象	考えられる原因	処置のしかた
	正 常	異 常			
温度モニター表示	消 灯	赤色点灯待機状態	内部温度が高温になっている	● 吸気孔がふさがれている ● 冷却ファンの故障 ● 内部回路の故障 ● 内部通風孔の目づまり	● 正しい設置場所に設置してください。（7ページ） ● 販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口（70ページ）に修理を依頼してください。
ランプ表示	緑色点灯（緑色点滅は光源起動中）	赤色点灯	ランプ交換時期	● ランプ残率が5%以下になった	● ランプを交換してください。（61ページ） ● ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口（70ページ）にお問い合わせください。 ● ランプを交換するときは、注意して行ってください。
		赤色点灯待機状態	ランプ（光源）が点灯しない	● ランプ（光源）が切れた ● ランプ（光源）点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯	消灯	プロジェクターの電源が入らない	● ランプユニットカバーが外れている	● ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。 ● ランプユニットカバーをしっかりと取り付けても電源が入らない場合は、もよりのシャープお客様相談窓口（70ページ）にお問い合わせください。

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置(60ページ)を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(5分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の^{STANDBY}⑤またはリモコンの^{STANDBY}⑥を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変わることがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

ランプを交換する

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間(残率)」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ(別売)と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率(パーセント表示)は、画面表示で確認できます。(53ページ参照)
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内(エコモード:ランプ残率約75%/標準モード:ランプ残率約66%)です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。
- ランプの取り換えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(70ページ)にお問い合わせください。



・ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。



・当ランプが破裂したとき、ランプハウスのガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプ交換時のご注意



- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。



- 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-XVZ200++1に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、62ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

ランプを交換する(つづき)

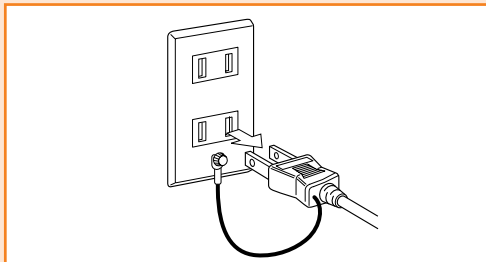
ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

警告

- ・取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- ・けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ・ランプ交換ユニットカバー以外のネジは絶対に外さないでください。
- ・ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

1 本体の またはリモコンの を押しプロジェクターを待機状態にし、電源コードをコンセントから抜く

- ・冷却ファンが止まるまで待ちます。
- ・アース線の取り外しは、必ず電源コードを抜いた後、行ってください。



2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- ・電源コードをAC電源ソケットから外します。
- ・ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

3 回転スタンドを取り外す(26ページ)

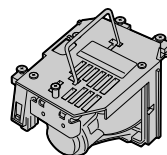
4 回転スタンドを取り外した後、ランプ交換ユニットカバーを取り外す

- ・プロジェクターを裏返しにして、ランプ交換ユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます。その後、矢印の方向にカバーをスライドさせます。

5 ランプ交換ユニットを取り外す

- ・固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを矢印の方向に引き出します。

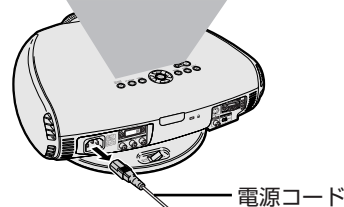
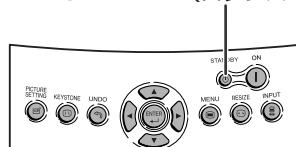
ランプ交換
ユニット



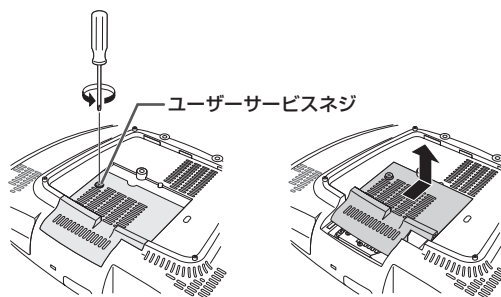
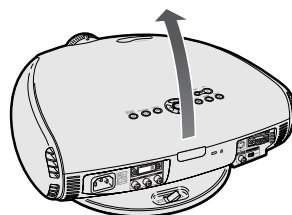
部品コード
BQC-XVZ200++1

流通コード
006 626 0323

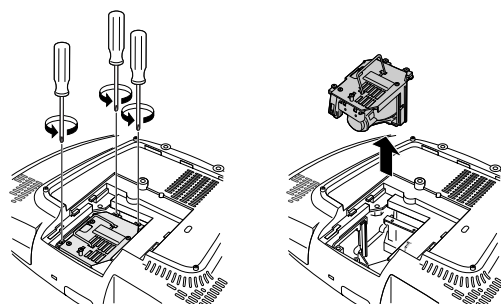
STANDBY (スタンバイ) ボタン



電源コード



ユーザーサービスネジ



6 新しいランプ交換ユニットを挿入する

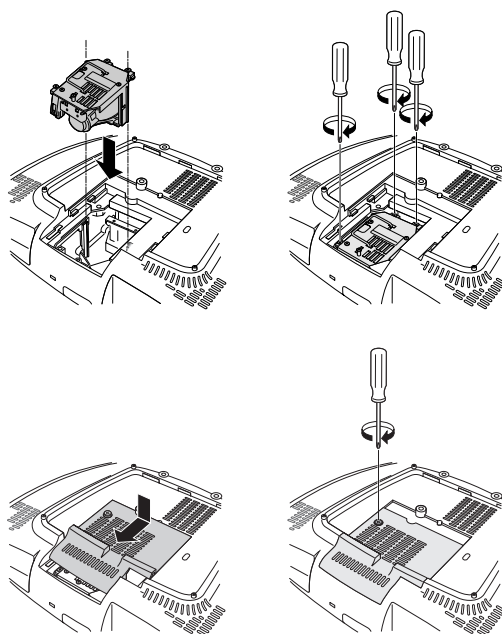
- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

7 ランプ交換ユニットカバーを取り付ける

- 矢印の方向にランプ交換ユニットカバーをスライドさせます。その後、ユーザーサービスネジをしめます。

お知らせ

- ランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていないと、本体の電源コードを接続しても、電源が入りません。

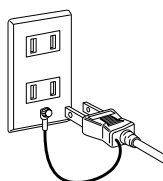


ランプ使用時間（タイマー）をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間（タイマー）をリセットしてください。

1 電源コードをプロジェクターに接続し、コンセントに差し込む

- アース線の取り付けは、必ず電源コードを差し込む前に、行ってください。



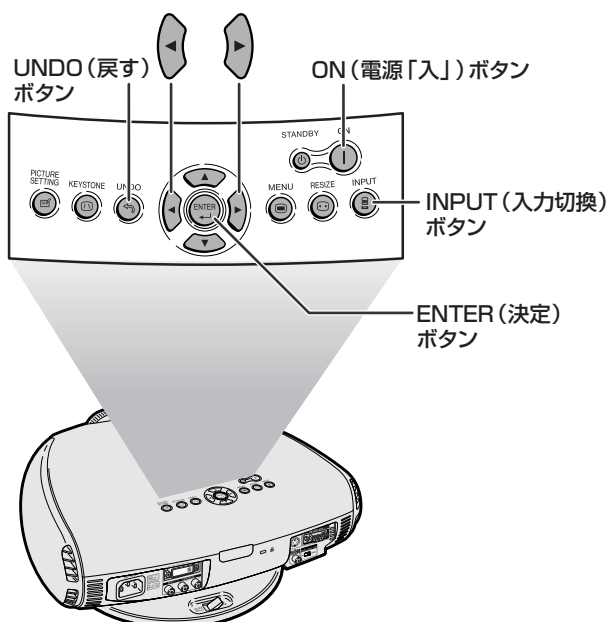
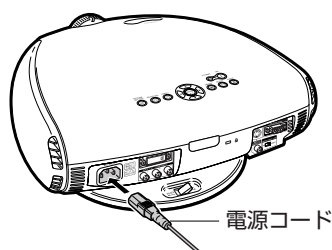
- プロジェクターの電源表示が赤く点灯していることを確認してください。

2 ランプ使用時間タイマーをリセットする

- プロジェクター本体の **ON**、**INPUT**、**UNDO**、**ENTER** ボタンを、**ON**、**INPUT**、**UNDO**、**ENTER** の順に押し続けます。その後、**ON** ボタンを押します。
- ランプ使用時間（タイマー）がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

お知らせ

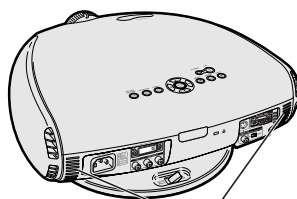
- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。リセットをして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因となります。



吸気孔のお手入れのしかた

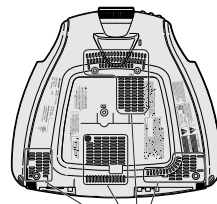
- 最適な状態でプロジェクターをご使用いただくために、吸気孔があります。
- 掃除機を使って定期的に吸気孔を掃除してください。
- 吸気孔は約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。

本体背面



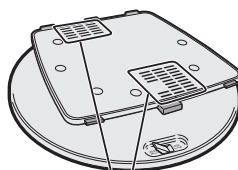
吸気孔

本体底面



吸気孔

回転スタンド

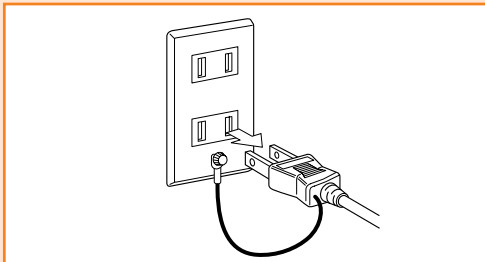


吸気孔

吸気孔のお手入れのしかた

- 1 本体の STANDBY 電源ボタン または リモコンの STANDBY 電源ボタン を押しプロジェクターを待機状態にし、電源コードをコンセントから抜く

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。
- アース線の取り外しは、必ず電源コードを抜いた後、行ってください。

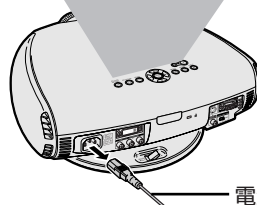
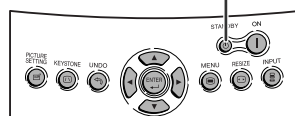


- 2 電源コードをプロジェクターから取り外す

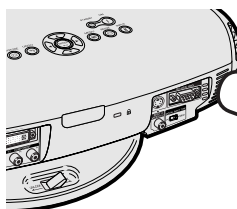
- 電源コードをAC電源ソケットから外します。

- 3 掃除機で吸気孔のほこりを吸い取る

STANDBY (スタンバイ) ボタン



電源コード



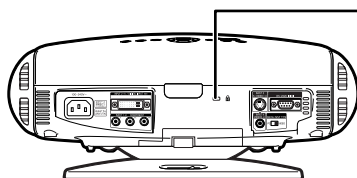
掃除機のホース

盗難防止用コネクターを使用する

- 市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを接続することができます。

本体背面

盗難防止用コネクター
(Kensington Security
Standard connector)



メモ

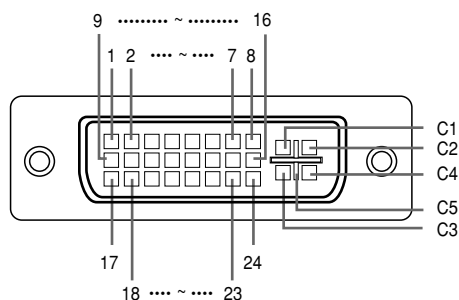
- 盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像が出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	16
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択（入力切換）がまちがっていませんか。	33
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	16～25
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。 ●「コントラスト」と「明るさ」が最小の値に調整されていませんか。	- 46
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	46
	＜ビデオ入力するとき＞ ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	54
	●入力2の映像を投射しているときは、入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	54
画面表示が出ない	●OSD表示が「  」に設定されていませんか。	53
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカスは合っていますか。	27
	●投射距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	28
	＜コンピュータ入力するとき＞ ●同期調整(クロック調整)を行ってください。	50
	●同期調整(位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	-
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	60
リモコンが正しく動作しない	●乾電池が消耗していませんか。 ●乾電池は正しく入っていますか。	13
冷却ファンの音が急に大きくなる	●周囲温度が高くなっていませんか。 ●吸気孔の清掃を実施してください。	7 64
映像が暗い	●ランプ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	60
入力2の色差入力モードで画面が緑がかる	●入力信号タイプが正しく設定されていますか。	54
入力2のRGBモードで画面がピンクがかる		

本体のコネクタのピン配置

DVIデジタル (INPUT (入力) 2) 端子：29ピンコネクタ



●DVIデジタル入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.Sデータ2ー	16	ホットプラグ検出
2	T.M.D.Sデータ2+	17	T.M.D.Sデータ0ー
3	T.M.D.Sデータ2シールド	18	T.M.D.Sデータ0+
4	NC	19	T.M.D.Sデータ0シールド
5	NC	20	NC
6	DDCクロック	21	NC
7	DDCデータ	22	T.M.D.Sクロックシールド
8	NC	23	T.M.D.Sクロック+
9	T.M.D.Sデータ1ー	24	T.M.D.Sクロックー
10	T.M.D.Sデータ1+	C1	NC
11	T.M.D.Sデータ1シールド	C2	NC
12	NC	C3	NC
13	NC	C4	NC
14	+5V電源	C5	接地
15	接地		

●DVIアナログRGB入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	16	ホットプラグ検出
2	NC	17	NC
3	NC	18	NC
4	NC	19	NC
5	NC	20	NC
6	DDCクロック	21	NC
7	DDCデータ	22	NC
8	アナログ垂直同期	23	NC
9	NC	24	NC
10	NC	C1	映像 (赤)
11	NC	C2	映像 (緑)
12	NC	C3	映像 (青)
13	NC	C4	アナログ水平同期
14	+5V電源	C5	接地
15	接地		

●DVIアナログコンポーネント (色差) 入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	16	NC
2	NC	17	NC
3	NC	18	NC
4	NC	19	NC
5	NC	20	NC
6	NC	21	NC
7	NC	22	NC
8	NC	23	NC
9	NC	24	NC
10	NC	C1	Pr/Cr
11	NC	C2	Y
12	NC	C3	Pb/Cb
13	NC	C4	NC
14	NC	C5	接地
15	接地		

RS-232C端子：9ピンD-sub雄コネクタ

ピン番号	信号	信号名	入/出	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4		予備		内部回路に接続
5	SG	信号接地		内部回路に接続
6		予備		内部回路に接続
7		予備		内部回路に接続
8		予備		内部回路に接続
9				NC

(RS-232C) 仕様とコマンドの設定

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル(クロスタイプ、別売品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(接続については25ページをご覧ください。)

通信条件

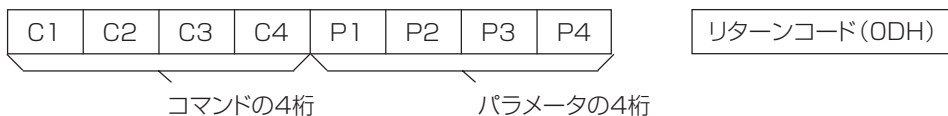
コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

信号形式 : RS-232C規格に準拠
 ボーレート : 9,600 bps
 データ長 : 8ビット
 パリティビット: なし
 ストップビット: 1ビット
 フロー制御 : なし

基本形式

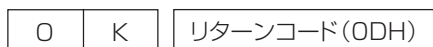
コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式



レスポンスコード形式

通常のレスポンス



問題のあるレスポンス(通信エラーや不正なコマンド)



お知らせ

- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待ってからコマンドを送信してください。
- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコードがプロジェクターから送られたあとで、次のコマンドを送信してください。

メモ

- プロジェクターのコンピュータ制御機能を使っているとき、プロジェクターの動作状況はコンピュータでは読み取れません。そのため、動作状況を確認するには各調整メニューについて表示コマンドを転送し、画面表示で一覧を確認します。プロジェクターがメニュー表示コマンド以外のコマンドを受け取ると、画面に表示せずに実行します。

コマンド

例: プロジェクターの電源を入れる場合



制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
電源オン	P O W R	- - -	1 OK または ERR
スタンバイ	P O W R	- - -	0 OK または ERR
入力1 (コンポーネント1)	I V E D	- - -	1 OK または ERR
入力2 (コンポーネント2)	I V E D	- - -	2 OK または ERR
入力3 (S映像)	I V E D	- - -	3 OK または ERR
入力4 (映像)	I V E D	- - -	4 OK または ERR
デジタル入力モード	I V E D	- - -	5 OK または ERR

メモ

- パラメータの列でアンダーバー(_)のところには、スペースを入力します。



RGB入力信号（推奨信号）について

- 幅広い信号に対応
水平周波数: 15kHz ~ 70kHz
垂直周波数: 43Hz ~ 75Hz
ドットクロック: 12MHz ~ 80MHz
- シンクオングリーン信号に対応。
- 圧縮表示により、SVGA、XGAに対応。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/ MAC/ WS	解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格	DVI サポート信号	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示
			31.5	70			
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70			
		640 × 400	27.0	60			
			31.5	70			
		720 × 400	27.0	60			
			31.5	70			
	SVGA	800 × 600	26.2	50		✓	圧縮表示
			31.5	60	✓	✓	
			34.7	70		✓	
			37.9	72	✓	✓	
			37.5	75	✓	✓	
			31.4	50		✓	
			35.1	56	✓	✓	
			37.9	60	✓	✓	
	XGA	1,024 × 768	44.5	70		✓	
			48.1	72	✓	✓	
			46.9	75	✓	✓	
			35.5	43	✓	✓	
	—	1,280 × 720	40.3	50		✓	
			56.5	70	✓	✓	
			58.1	72		✓	
			45.0	60		✓	
PC/ MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			拡大表示
MAC 16"	SVGA	832 × 624	46.8	75			圧縮表示
			49.6	75			
PC/ MAC 19"	XGA	1,024 × 768	48.4	60	✓		圧縮表示
			60.0	75	✓		



- 本機は、同時（CRT/LCD）モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
 - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（70ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」（65ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名 : シアタープロジェクター
形 名 : XV-Z200
お買いあげ日 : (年月日)
故 障 の 状 況 : (できるだけ具体的に)
ご 住 所 : (付近の目印も合わせてお知らせください)
お 名 前 : い。
電 話 番 号 :
ご訪問希望日 :

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販 売 店 名
年 月 日	電話 () —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のシアタープロジェクターの点検を こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出不ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

- 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は	一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、

下記地区別窓口にて承っております。

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は、..... *月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170番1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.10）

品名	シアタープロジェクター
形名	XV-Z200
表示方式	単板DMD™ カラーホイール色分離方式
パネルサイズ	0.6 型 16 : 9 DLP™方式
画素数	589,824 (1,024×576) ドット
レンズ	1～1.2倍手動ズーム・フォーカス F2.0～2.4 f=16.9～20.2mm
ランプ	210 W/168 W SHP
定格電圧	AC 100 V～AC 240 V
定格周波数	50/60 Hz
消費電力	285 W
使用温度範囲	5℃～35℃
保管温度範囲	-20℃～60℃
ビデオ入力対応	BSデジタルハイビジョン放送対応 (525I/525P/750P/1125I) NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
コンピュータ対応	解像度：VGA/SVGA/XGA
入力端子	コンポーネント入力 Y, P _B , P _R : RCAピン端子 (INPUT1)
	DVI端子 29ピン (INPUT2)
	ビデオ入力 S映像入力端子 (INPUT3) : 4ピンミニDINコネクタ ビデオ入力端子 (INPUT4) : RCAピン端子
RS-232C端子	9ピンミニD-sub端子
リモコン受光部	前面×1、背面×1
キャビネット	プラスチック
外形寸法	幅 368 mm、高さ 153.8 mm、奥行 327 mm (回転スタンド付) (突起部除く)
質量	約 4.6 kg (回転スタンド付)
<付属品> ・リモコン ・単3乾電池×2本 ・レンズキャップ (装着出荷) ・電源コード ・取扱説明書 (本書) ・保証書	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お願い

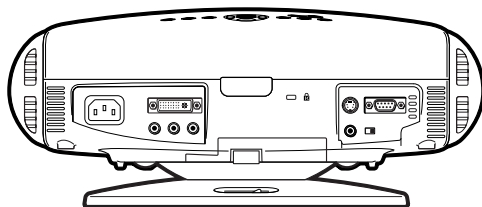
- ・DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご了承ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

寸法図

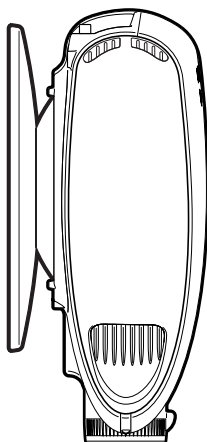
■本体

単位：mm

背面



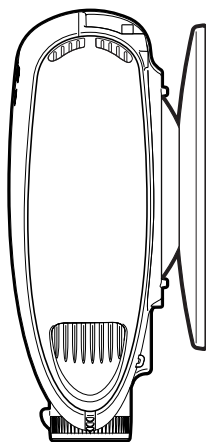
左側面



上面

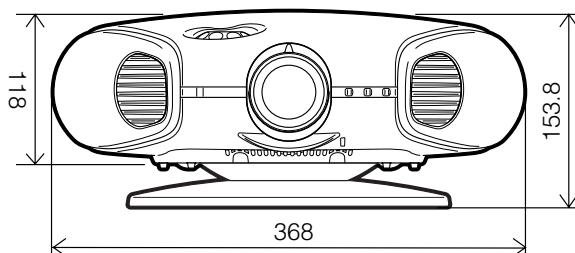


右側面

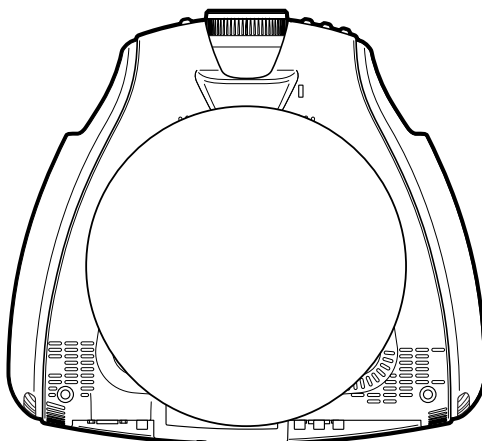


327

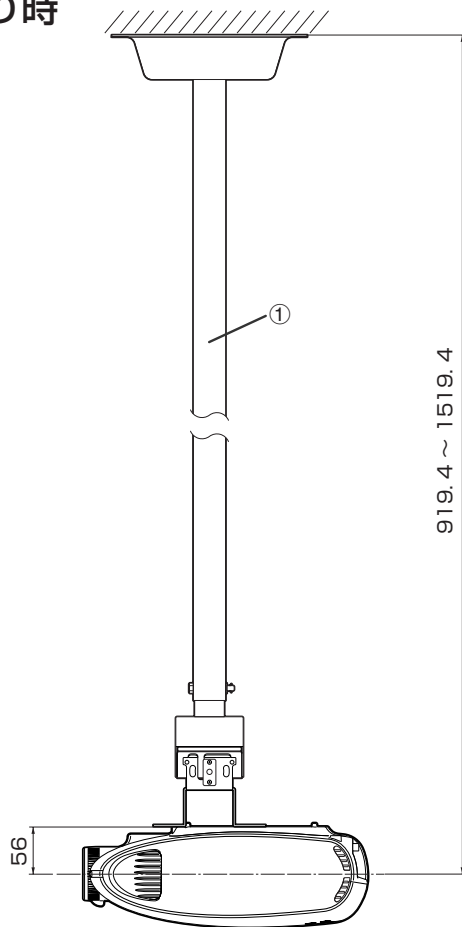
前面



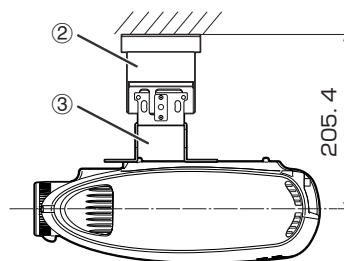
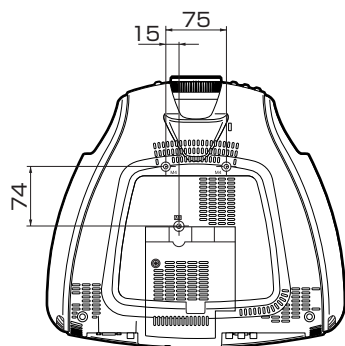
裏面



■天吊り時



	品名	型名
①	高天井用取付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取付けユニット	AN-TK202
③	取付けアダプター	AN-60KT



RS-232C

コンピュータからプロジェクターを制御するとき
に使用する端子です。

圧縮表示/拡大表示

解像度が低い、または高い映像を投映する場合、
プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サ
イズを調整します。

色温度

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わ
せて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を
表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、
赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいとき
は、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調し
ます。

ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が
見にくい場合、映像の暗い部分をより明るくして
映像を見やすくする機能です。

キーストーン補正

プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪
んだ映像をデジタル修正するための機能です。

画面サイズ

入力された映像の画質をよくするために、画面サ
イズを切り換えることができます。「標準」、
「ワイド」、「ズーム」、「スクイーズ」から選
択できます。

クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状の
ノイズを低減するための調整です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最良な状態で投映する機能
です。

水平位相

同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調
整します。水平位相が最適でないとき、横方向の
ノイズをともなって、映像がチカチカします。

ズーム

4：3レターボックスの映像を投映したとき、上下
の黒帯をカットし、ワイド画面で表示するモード
です。

スクイーズ

16：9の画面で表示するモードです。

台形補正

プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪
んだ映像をデジタル修正するための機能です。

縦横比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオ
における通常の縦横比は4：3です。縦横比が
16：9/21：9という横幅の広いワイド映像もあり
ます。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

無信号時画面

信号が入力されていないときに投映される初期設
定映像です。

レンズシフト

スクリーンの位置に合わせ、投映角度が調整でき
ます。

ワイド

4：3の画面を、画面の中心部付近の縦横比を維持
しながら、画面の左右だけを引き伸ばして、ワイ
ド画面で表示するモードです。

記号英数

AC 電源ソケット	16
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	52
DIGITAL INPUT (デジタル入力) ボタン	33
ENTER (決定) ボタン	41
FREEZE (静止画) ボタン	37
H キーストーン	35
INPUT (入力) 1 ~ 4 ボタン	33
INPUT (入力切換) ボタン	33
KEYSTONE (台形補正) ボタン	35
MENU (メニュー) ボタン	40
ON (電源「入」) ボタン	32
OSD 表示	53
PICTURE SETTING (調整値メモリー) ボタン	49
RESIZE (画面サイズ切換) ボタン	37
RGB/COMP. (RGB/コンポーネント信号切換) ボタン	54
RGB 入力	54
RGB 入力信号	68
STANDBY (スタンバイ) ボタン	34
UNDO (戻す) ボタン	41
V キーストーン	35

ア行

青	46
赤	46
明るさ	46
色あい	46
色温度	47
色の濃さ	46
映像信号方式	54
エコモード	55
温度モニター表示	60

カ行

回転スタンド	26
画質	46
カーソルボタン	40
ガンマ	48
キーストーン補正	35
吸気孔	64
クロック	50
コントラスト	46

サ行

色差入力	54
自動同期調整	52
垂直位置	50
水平位相	50
水平位置	50
ズームレバー	27
スタンド固定レバー	26
スタンド取り外しボタン	26

タ行

待機状態	34
台形歪み	35
調整値メモリー	49
デジタル入力タイプ切換スイッチ	22
電源表示	32
投映方式	58
同期調整	50
盗難防止用コネクター	65
特殊モード	51

ナ行

入力信号確認	52
入力信号タイプ	54
入力モード	33

ハ行

ピント調整	27
フォーカスリング	27
ホワイトエンハンス	48

マ行

無信号時画面	55
無信号時自動電源オフ	56
メニュー位置	56
メニュー色	57

ラ行

ランプ交換ユニット	62
ランプ使用時間	53
ランプ表示	60
リモコン受信部	13
レンズキャップ	10
レンズシフトダイヤル	27

● 製品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・・

70ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地



★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-B027WJZZ

02P11-JWM